

平成30年度 市民意識調査

# 市政評価と市政要望

平成30年12月

北九州市

## は じ め に

最新の市民意識の動向や、市民のニーズを的確に把握することは、よりよい市政の実現のために欠かせません。

このため、北九州市では、市政運営の基礎資料として「市政評価と市政要望」についてのアンケート調査を毎年行っています。

今年度の結果を見ますと、市政評価では、1位は「防犯、暴力追放運動の推進」で、4年連続1位となりました。2位は「ごみの適正処理とリサイクル」で、4年連続2位となりました。3位は「子育て支援の推進」で、前年度より1つ順位を上げました。

市政要望では、1位は「高齢社会対策の推進」で、6年連続1位となりました。2位は「子育て支援の推進」で、4年連続2位となりました。3位は前年度同様の「医療・衛生管理体制の充実」と、同スコアで「産業の振興」が入り、こちらは前年度の4位より順位を1つ上げました。

この調査結果はこれからの市政運営に反映させていく所存です。

お忙しい中、アンケート調査にご協力くださいました皆さま方に、厚くお礼申し上げます。

平成30年12月

北九州市長 北 橋 健 治

# 目 次

I	調査の概要	1
1	調査の設計	1
2	調査の実施	5
3	回収結果	5
4	回答者の構成	6
5	集計と地域区分	7
II	調査の結果	8
1	行政施策の評価	8
2	行政施策への要望	24
3	市政評価と市政要望の類型化	43
資 料 編		46
1	クロス集計表	46
2	調査票	82

# 「市政評価と市政要望」

## I 調査の概要

この調査は、市政全般についての市民の評価と要望を把握するため、昭和 42(1967)年度から継続実施している市民意識調査の一環として実施したものである。

調査方法は、昭和 61(1986)年度までの 20 回は、「広聴はがき」アンケートとして、往復はがきによる郵送調査で実施していたが、昭和 62(1987)年度からは、毎年実施する特定テーマの市民意識調査の付帯調査として同時実施の方法に改められ、この方法が現在まで継続されている。なお、今年度は、特定テーマの市民意識調査「市民主体のまちづくりについて」と併せて実施され、その結果は別途報告書が作成されている。

### 1 調査の設計

#### (1) 調査項目

「市政評価と市政要望」調査は、調査対象者に市の主要な事務・事業を提示し、この中から「よくなっているもの」(評価)、「今後、もっと力を入れてほしいもの」(要望)別にそれぞれ上位 3 項目を選択させる方法で調査している。また、選択肢として掲げる主要な事務・事業について、市民意識の経年変化を把握するため、調査項目の変更はできるだけ避けている。

しかしながら、時代の趨勢に伴い、市の主要施策や政策課題についてかなりの変化が生じたため、平成 3 年度と平成 13 年度と 2 回に渡り、選択肢として掲げる項目の検討・改定を行った。次いで、平成 13 年度の見直しから 9 年を経過した平成 22 年度調査では、平成 20 年 12 月策定の基本構想・基本計画「元気発進!北九州」プランの内容を反映するなどの改定を実施した。更に、平成 24 年度調査では、本市でも積極的に取り組みを進めている低炭素社会に関する項目「地球温暖化対策、省エネ、再生可能エネルギーの推進」を追加している。

#### 主な改定内容

平成 24 年度調査

追加	「地球温暖化対策、省エネ、再生可能エネルギーの推進」
----	----------------------------

平成 22 年度調査

追加	「ワーク・ライフ・バランス (仕事と生活の調和) の推進」
分割・統合	救急医療体制の充実 → 「医療・衛生管理体制の充実 (救急医療、感染症対策など)」 保健・医療の充実 → 「健康づくりの推進 (検診、予防、食育など)」
分割	地域コミュニティづくりやボランティア・NPO活動の推進 → 「地域コミュニティづくりの支援」 → 「ボランティア・NPO活動の支援」
削除	水辺環境の整備 港やウォーターフロントの整備 情報化の推進 交通安全の確保 駐輪対策

「市政評価と市政要望」調査項目新旧対照表

旧（平成13年度～21年度）		新（平成22年度より）	
環境 ・ 景観	1 ごみの適正処理とリサイクル (⇒30)	子育て、 教育、 人材 育成	1 <u>子育て支援の推進</u> (変更)
	2 大気・騒音・水質などの環境保全 (⇒31)		2 学校教育の充実
	3 自然環境の保全と整備 (⇒33)		3 青少年の健全育成の推進
	4 <u>水辺環境の整備</u> (削除)		4 学術の振興（学術研究都市の推進、 市立大学の充実など）
	5 <u>港やウォーターフロントの整備</u> (削除)		5 生涯学習の推進
	6 公園の整備など、緑のまちづくり の推進 (⇒15)		
	7 <u>都市景観の整備</u> (⇒16)		
少子 ・ 高齢 社会	8 高齢社会対策の推進 (⇒10)	健康、 安全 ・ 安心	6 <u>医療・衛生管理体制の充実</u> （救急 医療、感染症対策など）
	9 <u>少子化対策の推進</u> （子育て支援な ど） (⇒1)		7 防犯、暴力追放運動の推進
	10 障害者施策の推進 (⇒11)		8 防災体制の <u>充実</u> (変更)
	11 <u>保健・医療の充実</u> (⇒6, 12) (分割・統合)		9 <u>消費者被害防止対策</u> (変更)
			10 高齢社会対策の推進
	11 障害者施策の推進	12 <u>健康づくりの推進</u> （検診、予防、 食育など）	
		13 <u>人権の尊重と男女共同参画</u> （あら ゆる分野への女性の参画）の推進 (変更)	
		14 <u>ワーク・ライフ・バランス</u> （仕事 と生活の調和）の推進 (追加)	
教育 ・ 文化	12 学校教育の充実 (⇒2)	快適 な暮 らし、 文化 ・ スポ ーツ	15 公園の整備など、緑のまちづくり の推進
	13 生涯学習の推進 (⇒5)		16 <u>都市景観の整備</u> （まち並みづくり と歴史的建造物の活用など） (変更)
	14 青少年の健全育成の推進 (⇒3)		17 住宅供給の促進・快適な住環境の 整備
	15 芸術・文化活動の振興 (⇒20)		18 駐車対策
	16 <u>生涯スポーツ</u> の振興 (⇒21)		19 身近な生活道路の整備
			20 芸術・文化活動の振興
			21 <u>スポーツ</u> の振興 (変更)
			22 <u>地域コミュニティづくり</u> の支援
	23 <u>ボランティア・NPO活動</u> の支援		
	24 市役所の窓口サービスの向上		

旧（平成13年度～21年度）		新（平成22年度より）	
産業 ・ 学術	17 学術の振興（学術研究都市の推進、市立大学の充実など）（⇒4） 18 <u>情報化の推進</u> （削除） 19 産業の振興（ <u>企業誘致</u> 、雇用の促進など）（⇒25）	産業	25 産業の振興（ <u>企業の誘致・成長支援</u> 、雇用の促進など）（変更） 26 <u>観光・コンベンション</u> （大規模な会議など）の振興（変更）
交流 ・ 物流	20 <u>交通体系の整備</u> （⇒29） 21 <u>交通・物流拠点</u> （空港・響灘大水深港湾など）の整備（⇒28） 22 市街地の整備・再開発（⇒27） 23 <u>国際交流の推進</u> （⇒34） 24 <u>観光・コンベンション</u> の振興（⇒26）	都市 基盤 ・ 物流	27 市街地の整備・再開発 28 交通・物流（ <u>空港、港湾など</u> ）機能の強化（変更） 29 <u>道路・交通ネットワーク</u> の整備（変更）
地域 ・ 生活	25 <u>地域コミュニティづくりやボランティア・NPO活動の支援</u> （⇒22, 23）（分割） 26 市役所の窓口サービスの向上（⇒24） 27 <u>人権の尊重と男女共同参画社会の実現</u> （あらゆる分野への女性の参画推進など）（⇒13） 28 防災体制の整備（⇒8） 29 <u>救急医療体制の充実</u> （⇒6）（統合） 30 <u>交通安全の確保</u> （削除） 31 <u>駐輪対策</u> （削除） 32 <u>駐車対策</u> （⇒18） 33 防犯、暴力追放運動の推進（⇒7） 34 <u>自立した消費者の育成</u> （⇒9） 35 <u>身近な生活道路の整備</u> （⇒19） 36 住宅供給の促進・快適な住環境の整備（⇒17）	環境	30 ごみの適正処理とリサイクル 31 大気・騒音・水質などの環境保全 32 地球温暖化対策、省エネ、再生可能エネルギーの推進（平成24年度調査より追加） 33 <u>自然環境の保全と自然とのふれあいの推進</u> （変更）
		交流 ・ 連携	34 <u>アジアを中心とした交流の推進と国籍を問わず快適に暮らせるまちづくり</u> （変更）

※ 下線は変更部分。

## (2) 標本設計

[調査対象者]

市内に居住する 18 歳以上の男女 3,000 人

※平成 27 年度までは 20 歳以上の男女を対象としていたが、公職選挙法等の一部を改正する法律（平成 27 年 6 月 19 日成立、平成 28 年 6 月 19 日施行）に合わせ、平成 28 年度調査より 18 歳以上の男女を対象としている。

[標本抽出]

平成 30 年 5 月 31 日現在の住民基本台帳（811,888 人）をもとに 3,000 人を等間隔抽出

### 行政区別の設定標本数

区 分	居 住 人 口	抽 出 標 本 数	構 成 比
門司区	85,797 人	304 人	10.1 %
小倉北区	156,182	555	18.5
小倉南区	176,884	661	22.0
若松区	70,344	274	9.1
八幡東区	58,348	221	7.4
八幡西区	214,192	798	26.6
戸畑区	50,141	187	6.2
計	811,888	3,000	100.0

(注 1) 居住人口は 18 歳以上人口で抽出リード件数である。

(注 2) 構成比の単位未満は四捨五入で表示したため、計と各区の合計は必ずしも一致しない場合がある。

## (3) 調査方法

郵送調査法

## 2 調査の実施

### (1) 調査主体

北九州市広報室広聴課

### (2) 実査

調査開始 平成 30 年 6 月 19 日

督促状発送 平成 30 年 7 月 9 日

回答期限 平成 30 年 7 月 16 日

### (3) 集計・分析

集計、分析・コメントは株式会社東京商工リサーチが実施した。

※数値の単位未満は四捨五入を原則としたので、総数と内容の合計は必ずしも一致しない場合がある。

## 3 回収結果

発送標本数 3,000 票のうち、回収標本総数は 1,068 票であった。このうち有効回収数は、1,053 票であり、有効回収率は 35.1%であった。(前年度は有効回収数 1,201 票、有効回収率は 40.0%)

なお、行政区別の回収状況は、下表のとおりである。

行政区別回収状況

区 分	設 定 標 本 数	有 効 回 収 数	有 効 回 収 率
門司区	304 人	110 人	36.2 %
小倉北区	555	183	33.0
小倉南区	661	222	33.6
若松区	274	98	35.8
八幡東区	221	84	38.0
八幡西区	798	291	36.5
戸畑区	187	65	34.8
計	3,000	1,053	35.1



#### 4 回答者の構成

有効回収数 1,053 票の標本構成は下表のとおりである。

#### 回答者の構成

N : 1,053 人

性別	男性	女性	無回答				
	42.5% 448人	56.3% 593人	1.1% 12人				
年齢	10・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
	6.6% 69人	9.1% 96人	16.0% 169人	16.2% 171人	25.2% 265人	25.7% 271人	1.1% 12人
居住歴	1年未満	2年未満	3年未満	5年未満	10年未満	20年未満	30年未満
	1.5% 16人	1.8% 19人	0.5% 5人	2.3% 24人	3.2% 34人	10.4% 110人	11.7% 123人
	30年以上	無回答					
	67.5% 711人	1.0% 11人					
職業	自営業	自由業	会社員	公務員・教員	農・林・漁業	主婦・主夫 (パートなど)	主婦・主夫 (専業)
	6.2% 65人	0.5% 5人	24.4% 257人	3.5% 37人	0.4% 4人	16.3% 172人	17.1% 180人
	学生	無職	その他	無回答			
	2.7% 28人	22.6% 238人	5.0% 53人	1.3% 14人			
居住区	門司区	小倉北区	小倉南区	若松区	八幡東区	八幡西区	戸畑区
	10.4% 110人	17.4% 183人	21.1% 222人	9.3% 98人	8.0% 84人	27.6% 291人	6.2% 65人

なお、平成 30 年 5 月 31 日現在の住民基本台帳による 18 歳以上の北九州市民の性別、年齢、居住区の属性別構成は下表に示すとおりである。

これを、今年度調査の有効回収の標本構成と比較すると、性別では調査サンプルの男性が実態より 4.2 ポイント低い結果となっている。年齢別では、例年の傾向であるが、有効回答率の低さを反映してか 10・20 歳代で調査サンプルが住民基本台帳の実態ベースより 7.1 ポイント低く、逆に 60 歳代では調査サンプルのウエイトが 8.4 ポイント高いのが目立っている。なお、行政区（居住区）別では概ね両者間に大きな差はみられない。調査結果の解釈にあたっては、主にこの 3 点に関するウエイトの構成差異に留意されたい。

#### 平成 30 年 5 月 31 日現在の住民基本台帳による人口構成（18 歳以上）

性別	男	女					
	46.7%	53.3%					
年齢	10・20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上	
	13.7%	13.1%	16.4%	14.1%	16.8%	25.9%	
居住区	門司区	小倉北区	小倉南区	若松区	八幡東区	八幡西区	戸畑区
	10.6%	19.2%	21.8%	8.7%	7.2%	26.4%	6.2%

## 5 集計と地域区分

### (1) 集計

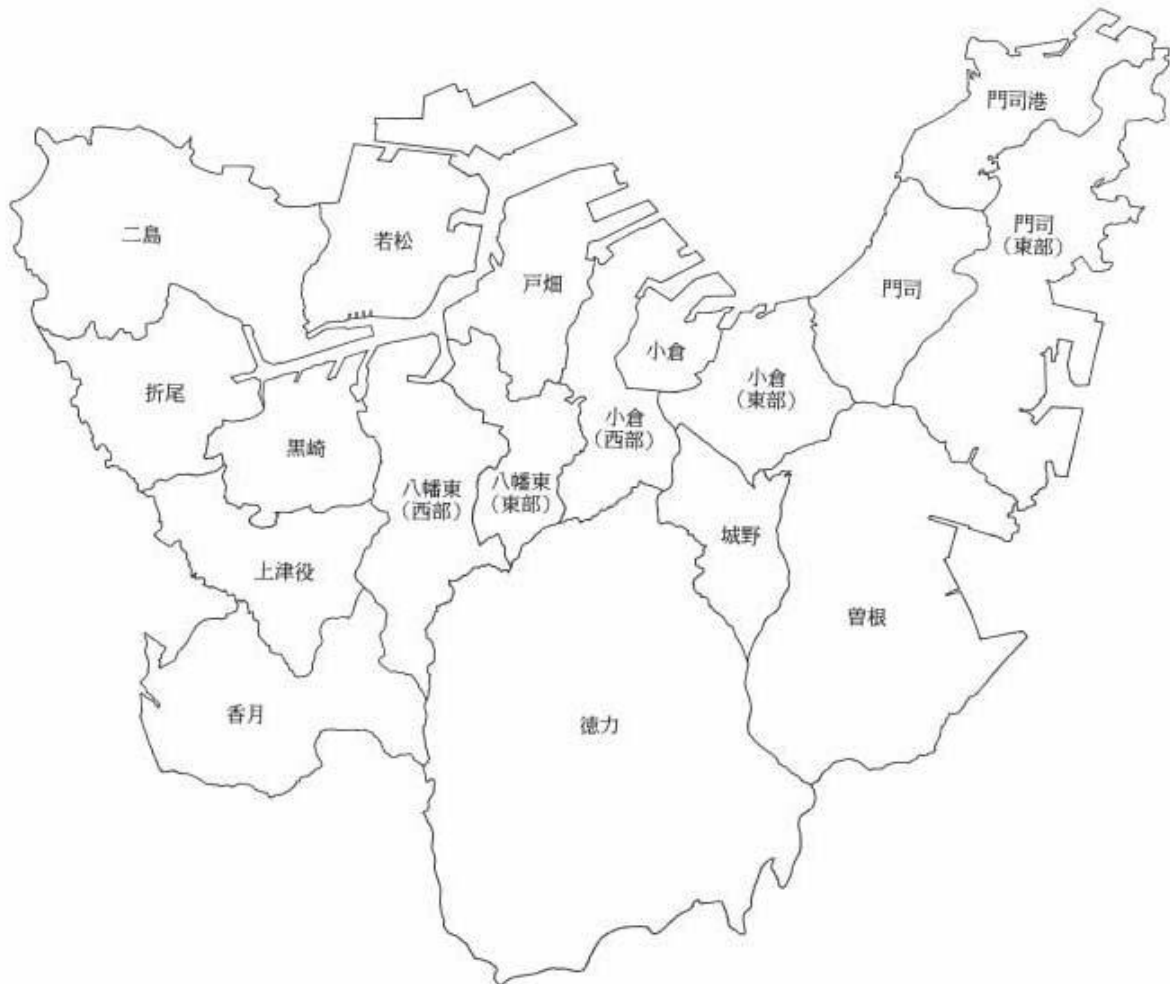
今年度調査も、前回までの調査に従って順位法で回答を求めたため、集計は1位に3点、2位に2点、3位に1点を付加したスコア計算によることとした。

また、前回までの調査との比較あるいは属性別、地区別などの比較は、それぞれ回答者数が異なり、スコアだけでは判断できないため、スコアを回答者数で割った平均スコア（最大3.000～最小0.000）を用いた。

### (2) 地域区分

市の事務事業についての評価、要望をより細かく把握するため、ここでは行政区を下図に示す18地区に分割し、検討することとした。

なお、本区分は、平成元年度まで選挙人名簿をもとに投票区単位で標本抽出を行っていたが、平成2年度調査からは、住民基本台帳における町丁目単位からの標本抽出に変更したため、平成元年度以前とは地域区分に若干の差異がある。



## II 調査の結果

### 1 行政施策の評価

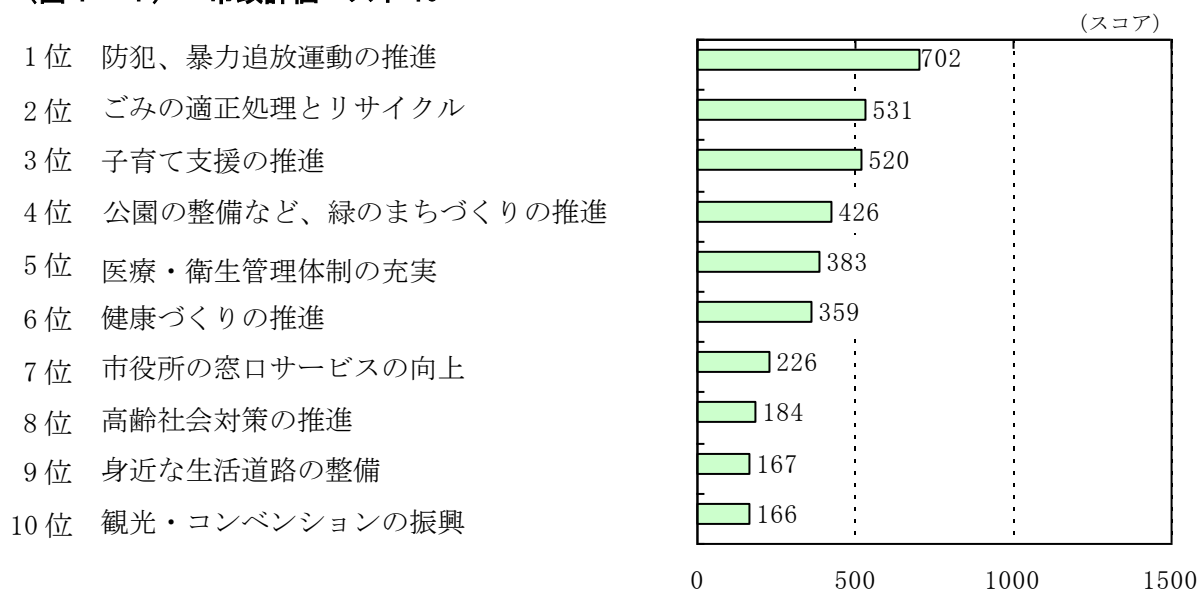
本調査では、北九州市が行っている施策や事業 34 項目のなかで、「以前に比べてかなりよくなっている」と思われるものを 1 位から 3 位まで回答を求めた。今年度の調査結果を上位順に示したものが（表 1-1）、上位 10 項目を棒グラフで表したものが（図 1-1）である。

（表 1-1） 「以前に比べてかなりよくなっている」もの

順位	調査項目	スコア (得点数)
1	防犯、暴力追放運動の推進	702
2	ごみの適正処理とリサイクル	531
3	子育て支援の推進	520
4	公園の整備など、緑のまちづくりの推進	426
5	医療・衛生管理体制の充実（救急医療、感染症対策など）	383
6	健康づくりの推進（検診、予防、食育など）	359
7	市役所の窓口サービスの向上	226
8	高齢社会対策の推進	184
9	身近な生活道路の整備	167
10	観光・コンベンション（大規模な会議など）の振興	166
11	都市景観の整備（まち並みづくりと歴史的建造物の活用など）	163
12	大気・騒音・水質などの環境保全	151
13	学校教育の充実	150
14	学術の振興（学術研究都市の推進、市立大学の充実など）	140
15	市街地の整備・再開発	130
16	地球温暖化対策、省エネ、再生可能エネルギーの推進	127
17	芸術・文化活動の振興	124
18	スポーツの振興	119
19	交通・物流（空港、港湾など）機能の強化	98
20	生涯学習の推進	93
21	道路・交通ネットワークの整備	74
22	産業の振興（企業の誘致・成長支援、雇用の促進など）	73
23	住宅供給の促進・快適な住環境の整備	63
24	障害者施策の推進	61
25	アジアを中心とした交流の推進と国籍を問わず快適に暮らせるまちづくり	58
26	防災体制の充実	56
27	青少年の健全育成の推進	47
28	地域コミュニティづくりの支援	45
29	駐車対策	41
30	自然環境の保全と自然とのふれあいの推進	39
31	ボランティア・NPO活動の支援	31
32	ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進	29
33	人権の尊重と男女共同参画（あらゆる分野への女性の参画）の推進	26
34	消費者被害防止対策	20

注) スコアは、1位3点、2位2点、3位1点を合計したもの

(図 1-1) 市政評価ベスト 10



### (1) 調査結果の概要

まず、市民の評価が高かったベスト 10 を中心に結果をみると、1 位は「防犯、暴力追放運動の推進」(スコア 702) であった。平成 5 年度から 26 年度までは、22 年連続で「ごみの適正処理とリサイクル」が 1 位であったが、この項目は、より高い市民評価を得て平成 27 年度トップとなり、以降、今年度まで 4 年連続で最も高い市民評価を得る結果となった。

2 位は「ごみの適正処理とリサイクル」(スコア 531) であった。この項目は、前述のように平成 26 年度まで 22 年連続で 1 位であったが、平成 27 年度に 2 位となり、以降、今年度まで 4 年連続で同順位となった。全市民的な美化意識と環境意識の高まりを背景に、引き続き安定した市民評価を得ている様子が見える。

3 位は前年度 4 位の「子育て支援の推進」(スコア 520) であり、これは平成 27 年度 6 位であったが、平成 28 年度、前年度と、年々 1 つずつ順位を上げ、今年度も 1 つ順位を上げ 3 位となった。

これら上記 3 項目が、今年度の市政評価のベスト 3 となっている。

4 位から 10 位までで前年度より順位を上げたのは 2 項目で、5 位に入った前年度 6 位の「医療・衛生管理体制の充実」(スコア 383)、および 10 位に入った前年度 11 位の「観光・コンベンションの振興」(スコア 166) が、ともに順位を 1 つ上げている。

一方、4 位から 10 位までで前年度より順位を下げたのは 2 項目で、4 位に入った前年度 3 位の「公園の整備など、緑のまちづくりの推進」(スコア 426) と、6 位に入った前年度 5 位の「健康づくりの推進」(スコア 359) が、ともに順位を 1 つ下げている。

このように、今回調査ではベスト 2 は前年度調査と変わらず、3 位から 6 位、および 10 位の項目に変動がみられた。なお、3 位以下で順位に変動がなかったのは、7 位の「市役所の窓口サービスの向上」(スコア 226)、8 位の「高齢社会対策の推進」(スコア 184)、9 位の「身近な生活道路の整備」(スコア 167) の 3 項目であった。

## (2) 市政評価の推移

ここでは、市政評価の上位 10 位までの経年変化を概観し、次に順位の指標とは別に、項目ごとの評価の水準（高低）を比較可能にするため、総合得点を回答者数で割った平均スコアも加え、過去 3 年間の変化をみた。その結果、次のような特徴を指摘できる。(表 1 - 2) 参照

- ◇ 1 位の「防犯、暴力追放運動の推進」は、平成 27 年度以降、今年度で 4 年連続 1 位となった。平均スコアは、平成 28 年度 0.659 から前年度は 0.617 と下降したが、今年度は 0.667 と上昇した。
- ◇ 2 位の「ごみの適正処理とリサイクル」は、平成 27 年度以降、今年度で 4 年連続 2 位となった。平均スコアは、平成 28 年度は 0.551、前年度は 0.468 と下降したが、今年度は 0.504 と上昇した。
- ◇ 3 位の「子育て支援の推進」は、平成 28 年度は 5 位であったが、前年度は 4 位となり、今年度は更に順位を 1 つ上げて、ベスト 3 入りをした。平均スコアは、平成 28 年度の 0.351 から前年度は 0.419 に上昇し、今年度は 0.499 と更に上昇した。
- ◇ 4 位の「公園の整備など、緑のまちづくりの推進」は、平成 28 年度は 4 位で、前年度は順位を 1 つ上げて 3 位となったが、今年度は再び順位を 1 つ下げた。この事業も市民の評価が比較的安定して高く、平均スコアは、平成 28 年度は 0.387、前年度は 0.445 と上昇したが、今年度は 0.405 と下降した。
- ◇ 5 位の「医療・衛生管理体制の充実」は、平成 28 年度と前年度は 2 年連続 6 位となったが、今年度は順位を 1 つ上げた。平均スコアは、平成 28 年度の 0.315 から前年度は 0.381 と上昇したが、今年度は 0.364 と下降した。
- ◇ 6 位の「健康づくりの推進」は、平成 28 年度は 3 位、前年度は順位を 2 つ下げ 5 位となったが、今年度は更に順位を 1 つ下げた。平均スコアは平成 28 年度の 0.414 から前年度は 0.386 に下降し、今年度は 0.341 と更に下降した。
- ◇ 7 位の「市役所の窓口サービスの向上」は、平成 28 年度は 8 位、前年度は順位を 1 つ上げ 7 位となり、今年度も 2 年連続で 7 位となった。平均スコアは、平成 28 年度の 0.195 から前年度は 0.199 と僅かに上昇し、今年度は 0.215 と更に上昇した。
- ◇ 8 位の「高齢社会対策の推進」は、平成 28 年度は 12 位だったが、前年度は順位を 4 つ上げ 8 位となり、今年度も 2 年連続で 8 位となった。平均スコアは、平成 28 年度の 0.146 から前年度は 0.179 に上昇したが、今年度は 0.175 と下降した。
- ◇ 9 位の「身近な生活道路の整備」は、平成 28 年度の 15 位から前年度は順位を 6 つ上げ 9 位となり、今年度も 2 年連続で 9 位となった。平均スコアは、平成 28 年度の 0.138 から前年度は 0.177 と上昇したが、今年度は 0.159 と下降した。
- ◇ 10 位の「観光・コンベンションの振興」は、平成 28 年度の 10 位から前年度は 11 位に順位を下げベスト 10 圏外となったが、今年度は 1 つ順位を上げて再びベスト 10 入りした。平均スコアは平成 28 年度の 0.178 から前年度は 0.159 と下降し、今年度も 0.158 と僅かに下降した。

ベスト 10 圏外で過去 3 年間の経年変化をみると、「都市景観の整備」は、平成 28 年度の 9 位から前年度は 10 位と順位を 1 つ下げ、今年度は更に順位を 1 つ下げ、ベスト 10 圏外となった。「大気・騒音・水質などの環境保全」は平成 28 年度 7 位とベスト 10 にランクインしていたが、前年度は 14 位に順位を下げベスト 10 圏外となり、今年度は 12 位まで順位を上げている。

(表1-2) 市政評価の経年変化

(評価)「以前に比べてかなりよくなっている」

[(順位)と平均スコア]

調査項目		平成28年度	平成29年度	平成30年度
子育て、教育、人材育成	1 子育て支援の推進	(5) .351	(4) .419	(3) .494
	2 学校教育の充実	(13) .140	(15) .120	(13) .142
	3 青少年の健全育成の推進	(28) .036	(32) .030	(27) .045
	4 学術の振興(学術研究都市の推進、市立大学の充実など)	(14) .138	(12) .151	(14) .133
	5 生涯学習の推進	(20) .090	(17) .106	(20) .088
健康、安心・安全	6 医療・衛生管理体制の充実(救急医療、感染症対策など)	(6) .315	(6) .381	(5) .364
	7 防犯、暴力追放運動の推進	(1) .659	(1) .617	(1) .667
	8 防災体制の充実	(25) .052	(24) .057	(26) .053
	9 消費者被害防止対策	(33) .020	(30) .034	(34) .019
	10 高齢社会対策の推進	(12) .146	(8) .179	(8) .175
	11 障害者施策の推進	(30) .033	(25) .051	(24) .058
	12 健康づくりの推進(検診、予防、食育など)	(3) .414	(5) .386	(6) .341
	13 人権の尊重と男女共同参画(あらゆる分野への女性の参画)の推進	(31) .031	(29) .036	(33) .025
14 ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進	(34) .009	(34) .019	(32) .028	
快適な暮らし、文化・スポーツ	15 公園の整備など、緑のまちづくりの推進	(4) .387	(3) .445	(4) .405
	16 都市景観の整備(まち並みづくりと歴史的建造物の活用など)	(9) .185	(10) .169	(11) .155
	17 住宅供給の促進・快適な住環境の整備	(32) .026	(27) .044	(23) .060
	18 駐車対策	(27) .039	(31) .032	(29) .039
	19 身近な生活道路の整備	(15) .138	(9) .177	(9) .159
	20 芸術・文化活動の振興	(17) .135	(18) .097	(17) .118
	21 スポーツの振興	(15) .138	(13) .143	(18) .113
	22 地域コミュニティづくりの支援	(24) .060	(26) .047	(28) .043
	23 ボランティア・NPO活動の支援	(29) .033	(28) .042	(31) .029
	24 市役所の窓口サービスの向上	(8) .195	(7) .199	(7) .215
産業	25 産業の振興(企業の誘致・成長支援、雇用の促進など)	(23) .068	(23) .062	(22) .069
	26 観光・コンベンション(大規模な会議など)の振興	(10) .178	(11) .159	(10) .158
都市基盤・物流	27 市街地の整備・再開発	(18) .116	(16) .117	(15) .123
	28 交通・物流(空港、港湾など)機能の強化	(21) .082	(20) .086	(19) .093
	29 道路・交通ネットワークの整備	(19) .096	(21) .081	(21) .070
環境	30 ごみの適正処理とリサイクル	(2) .551	(2) .468	(2) .504
	31 大気・騒音・水質などの環境保全	(7) .203	(14) .136	(12) .143
	32 地球温暖化対策、省エネ、再生可能エネルギーの推進	(11) .159	(19) .089	(16) .121
	33 自然環境の保全と自然とのふれあいの推進	(26) .046	(33) .029	(30) .037
交流・連携	34 アジアを中心とした交流の推進と国籍を問わず快適に暮らせるまちづくり	(22) .070	(22) .067	(25) .055

注) 順位: 1位3点、2位2点、3位1点を合計した順位(表1-1)をそのまま表示

平均スコア: 1位3点、2位2点、3位1点を合計し、回答者数で割ったもの

(表1-2) その2 市政評価の推移(上位10位)

( )内は得点数で、1位3点、2位2点、3位1点として計算

順位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
1位	防犯、暴力追放運動の推進(1,168)	防犯、暴力追放運動の推進(871)	防犯、暴力追放運動の推進(741)	防犯、暴力追放運動の推進(702)
2位	ごみの適正処理とリサイクル(868)	ごみの適正処理とリサイクル(728)	ごみの適正処理とリサイクル(562)	ごみの適正処理とリサイクル(531)
3位	緑のまちづくりの推進(559)	健康づくりの推進(547)	緑のまちづくりの推進(534)	子育て支援の推進(520)
4位	健康づくりの推進(541)	緑のまちづくりの推進(511)	子育て支援の推進(503)	緑のまちづくりの推進(426)
5位	医療・衛生管理体制の充実(383)	子育て支援の推進(464)	健康づくりの推進(463)	医療・衛生管理体制の充実(383)
6位	子育て支援の推進(374)	医療・衛生管理体制の充実(416)	医療・衛生管理体制の充実(457)	健康づくりの推進(359)
7位	市役所の窓口サービスの向上(325)	大気・騒音・水質などの環境保全(269)	市役所の窓口サービスの向上(239)	市役所の窓口サービスの向上(226)
8位	学術の振興(247)	市役所の窓口サービスの向上(258)	高齢社会対策の推進(215)	高齢社会対策の推進(184)
9位	大気・騒音・水質などの環境保全(237)	都市景観の整備(244)	身近な生活道路の整備(213)	身近な生活道路の整備(167)
10位	身近な生活道路の整備(233)	観光・コンベンションの振興(235)	都市景観の整備(203)	観光・コンベンションの振興(166)
11位	都市景観の整備(223)	11位 地球温暖化対策などの推進(210)	11位 観光・コンベンションの振興(191)	11位 都市景観の整備(163)
12位	高齢社会対策の推進(180)	12位 高齢社会対策の推進(193)	12位 学術の振興(181)	12位 大気・騒音・水質などの環境保全(151)
13位	地球温暖化対策などの推進(172)	13位 学校教育の充実(185) ※H27年度20位	13位 スポーツの振興(172)	13位 学校教育の充実(150)
14位	観光・コンベンションの振興(144) ※H26年度20位	14位 学術の振興(183)	14位 大気・騒音・水質などの環境保全(163)	14位 学術の振興(140)
15位	芸術・文化活動の振興(138)	15位 身近な生活道路の整備(182)	15位 学校教育の充実(144)	15位 市街地の整備・再開発(130) ※H29年度16位
		16位 スポーツの振興(182) ※同スコア15位 ※H27年度16位		

### (3) 属性別にみた特徴

今年度調査における市政評価の回答結果を対象者の属性別にみていくと、以下のような特徴を指摘することができる。(表1-3) 参照

#### ① 性別

- ◇ 総合1位の「防犯、暴力追放運動の推進」は、前年度は男性1位、女性4位であった。今年度男性は同じく1位だったが、女性は3位となった。平均スコアも、男性(0.884)が女性(0.497)を上回った。前年度(男性0.863、女性0.465)と比べると、男女とも前年度を上回った。
- ◇ 総合2位の「ごみの適正処理とリサイクル」は、前年度は男女ともに2位となったが、今年度は男性3位、女性1位となった。平均スコアは、女性(0.570)が男性(0.429)を上回っている。前年度(男性0.447、女性0.479)と比べると、男性は前年度を下回ったが、女性は上回っている。
- ◇ 総合3位の「子育て支援の推進」は、前年度は男性5位、女性1位であった。今年度は男女ともに2位と、特に男性の順位が上がったが、女性の順位は下がった。平均スコアは、女性(0.531)が男性(0.451)を上回っている。前年度(男性0.309、女性0.496)と比べると、男女とも前年度を上回っている。
- ◇ 総合4位の「公園の整備など、緑のまちづくりの推進」は、前年度は男女ともに3位であったが、今年度は男性5位、女性4位となった。平均スコアは、女性(0.452)が男性(0.342)を上回っている。前年度(男性0.403、女性0.474)と比べると、男女とも前年度を下回っている。
- ◇ 総合5位の「医療・衛生管理体制の充実」は、前年度は男性4位、女性6位で、今年度も男性4位、女性6位となった。平均スコアは、男性(0.379)が女性(0.341)を上回っている。前年度(男性0.370、女性0.382)と比べると、男性は前年度を上回ったが、女性は下回っている。
- ◇ 総合6位の「健康づくりの推進」(男性6位、女性5位)、及び総合10位の「観光・コンベンションの振興」(男性13位、女性8位)は、男性より女性の順位が高かった。一方、総合7位の「市役所の窓口サービスの向上」(男性7位、女性7位)、及び総合9位の「身近な生活道路の整備」(男性10位、女性10位)は男女で同順位、総合8位の「高齢社会対策の推進」(男性8位、女性9位)は、女性より男性の順位が高かった。

#### ② 年齢別

- ◇ 総合1位の「防犯、暴力追放運動の推進」は、前年度は30歳代、50歳代、60歳代及び70歳以上の各年齢層で1位、40歳代で2位、10・20歳代で5位だった。今年度は30歳代で3位、それ以外の各年齢層で1位となった。前年度と比べると、30歳代の順位が2ランク下降したが、10・20歳代の順位は4ランク上昇し、40歳代の順位も1ランク上昇した。  
平均スコア(総合0.667)では、70歳以上(0.768)が最も高く、以下、60歳代(0.702)、10・20歳代(0.638)、50歳代(0.620)、40歳代(0.604)、30歳代(0.469)の順になっており、30歳代を除く全ての層で0.600水準を上回った。前年度の平均スコアとの比較では、10・20歳代、40歳代、及び70歳以上で前年度を上回った。
- ◇ 総合2位の「ごみの適正処理とリサイクル」は、前年度は10・20歳代、50歳代及び



60歳代の各年齢層で2位、70歳以上で3位、30歳代で5位、40歳代で6位であったが、今年度は10・20歳代、60歳代及び70歳以上の各年齢層で2位、40歳代及び50歳代で3位、30歳代で5位となった。平均スコア（総合0.504）では、70歳以上（0.616）が最も高く、60歳代（0.562）、50歳代（0.538）、10・20歳代（0.478）、40歳代（0.385）、30歳代（0.260）の順で続いた。50歳代以上の各年齢層で0.500水準を上回り、年齢が比較的高い層で評価が高い傾向がみられ、この傾向は例年と同じであった。

- ◇ 総合3位の「子育て支援の推進」は、前年度は40歳代の1位を筆頭に、30歳代で2位、10・20歳代、50歳代及び60歳代で4位、70歳以上で6位であった。今年度は30歳代で1位、40歳代及び50歳代で2位、70歳以上で3位、10・20歳代及び60歳代で5位となり、子育てに多忙と考えられる30歳代で相対的に高い評価を得た。平均スコア（総合0.494）では、30歳代（0.667）を筆頭に、40歳代（0.592）、50歳代（0.579）、60歳代（0.445）、70歳以上（0.439）、10・20歳代（0.246）の順で続いた。30歳代、40歳代及び50歳代の各年齢層で0.500水準を上回り、ここでも子育てに多忙と考えられる30歳代を中心に評価が高い傾向がみられた。
- ◇ 総合4位の「公園の整備など、緑のまちづくりの推進」は、30歳代の2位を筆頭に、10・20歳代、40歳代及び60歳代で3位、50歳代で5位、70歳以上で6位となり、全ての年齢層で6位以内にランクインし、年齢層を問わず評価が高かった。
- ◇ 総合5位の「医療・衛生管理体制の充実」は、30歳代、50歳代及び70歳以上で4位、40歳代及び60歳代で6位であったが、10・20歳代では18位と相対的に低い評価となっている。
- ◇ 総合6位の「健康づくりの推進」は、60歳代で4位、40歳代及び70歳以上で5位、50歳代で7位、30歳代で12位、10・20歳代で21位となり、年齢の高い世代で相対的に高い評価を得た。
- ◇ 総合7位の「市役所の窓口サービスの向上」は、60歳代及び70歳以上の7位を筆頭に、50歳代で8位、40歳代で20位、30歳代で29位、10・20歳代でランク外と年齢の高い世代で相対的に高い評価がみられ、この傾向は前年度と同じであった。
- ◇ このほかに、年齢が高い世代の評価が高かったものとしては、総合12位の「大気・騒音・水質などの環境保全」は60歳代（9位）が最も高く、50歳代及び70歳以上（10位）も次いで高い順位であった。一方、若い世代の評価が高かったものとしては、総合15位の「市街地の整備・再開発」は10・20歳代（4位）の評価が最も高く、総合23位の「住宅供給の促進・快適な住環境の整備」も10・20歳代（7位）が最も高かった。

### ③ 居住年数別

ここでは、標本数が少ない3年未満（5サンプル）を除いた居住年数別でみることにする。

- ◇ 総合1位の「防犯、暴力追放運動の推進」を、市民の居住年数別にみると、前年度は、1年未満及び20年未満を除く全ての居住年数層で1位であった。今年度は、2年未満、20年以上、30年未満及び30年以上の居住年数層で1位、5年未満で2位、10年未満で4位、1年未満で10位と、1年未満を除く全ての居住年数層で4位以内にランクインした。平均スコア（総合0.667）をみると、30年未満（0.780）が最も高く、以下、20年未満（0.682）、30年以上（0.679）、5年未満（0.542）、2年未満（0.526）、10年未満（0.324）と続いた。これらの居住年数層で、0.300水準を上回った。

- ◇ 総合2位の「ごみの適正処理とリサイクル」は、前年度は、1年未満で1位、30年以上で2位、20年未満で3位、30年未満で4位、2年未満及び5年未満で5位、10年未満は6位であった。今年度は、1年未満及び30年以上で2位、20年未満及び30年未満で3位、2年未満及び10年未満で6位、5年未満で10位と、5年未満を除く全ての居住年数層で6位以内にランクインした。平均スコア（総合0.504）をみると、30年以上（0.574）が最も高く、1年未満（0.563）、20年未満（0.436）、30年未満（0.382）、2年未満（0.263）、10年未満（0.235）、5年未満（0.208）と続いた。
- ◇ 総合3位の「子育て支援の推進」は、5年未満及び10年未満で1位、2年未満、20年未満及び30年未満で2位、30年以上で3位、1年未満で5位と、全ての居住年数層で5位以内にランクインした。平均スコア（総合0.494）を見ると、10年未満（0.765）が最も高く、5年未満（0.583）、30年以上（0.506）の順で続き、これらの居住年数層で0.500水準を上回った。
- ◇ 総合4位の「公園の整備など、緑のまちづくりの推進」は、1年未満で1位、2年未満及び10年未満で2位、5年未満及び30年未満で3位、20年未満及び30年以上で4位と、全ての居住年数層で4位以内にランクインし、居住年数を問わず高い評価を得ている。
- ◇ 総合5位の「医療・衛生管理体制の充実」は、10年未満で3位、5年未満、20年未満、30年未満及び30年以上で5位、2年未満で8位と、2年未満を除く全ての居住年数層で5位以内にランクインした。
- ◇ 総合6位の「健康づくりの推進」は、5年未満で4位、20年未満、30年未満及び30年以上で6位、1年未満で8位、10年未満で9位、2年未満で10位と、全ての居住年数層で10位以内にランクインした。
- ◇ 居住年数が短い市民の評価が高い項目は、総合11位の「都市景観の整備」で、1年未満が3位と最も高く、総合15位の「市街地の整備・再開発」で、1年未満が4位と最も高かった。総合23位の「住宅供給の促進・快適な住環境の整備」は2年未満で4位と最も高く、総合22位の「産業の振興」は2年未満で6位と最も高かった。
- ◇ 一方、居住年数が長い市民の評価が高い項目は、総合9位の「身近な生活道路の整備」で、30年以上が9位と最も高かった。

#### ④ 職業別

ここでは、標本数が少ない自由業（5サンプル）及び農・林・漁業（4サンプル）を除いた職業別でみることにする。

- ◇ 総合1位の「防犯、暴力追放運動の推進」は、学生で2位、主婦・主夫（パートなど）及び主婦・主夫（専業）で3位となったが、それら以外のすべての職業層で1位となった。平均スコア（総合0.667）は自営業（0.831）が最も高く、次いで、会社員（0.805）、無職（0.706）と続いた。一方、最も低い評価だったのは学生（0.429）で、次いで主婦・主夫（専業）（0.494）と続き、この2つの職業層では0.500水準を下回った。
- ◇ 総合2位の「ごみの適正処理とリサイクル」は、主婦・主夫（専業）及び学生で1位、主婦・主夫（パートなど）及び無職で2位、自営業、会社員及び公務員・教員で3位、その他で9位と、その他を除く全ての職業層で3位以内にランクインした。平均スコア（総合0.504）は、学生（0.857）が最も高く、次いで無職（0.651）、主婦・主夫（専業）（0.622）の順となった。一方、最も低い評価だったのはその他（0.208）で、次い

で会社員 (0.339)、公務員・教員 (0.351) と続き、この3つの職業層では 0.400 水準を下回った。

- ◇ 総合3位の「子育て支援の推進」は、主婦・主夫（パートなど）が1位で最も順位が高く、自由業、会社員、公務員・教員、及び主婦・主夫（専業）で2位、その他で4位、無職で5位、学生で19位と、学生を除く全ての職業層で5位以内にランクインした。平均スコア（総合0.494）は、自営業（0.677）が最も高く、主婦・主夫（パートなど）（0.634）、主婦・主夫（専業）（0.539）、公務員・教員（0.514）、会社員（0.502）の順となり、これら5つの職業層で0.500水準以上となった。
- ◇ 総合4位の「公園の整備など、緑のまちづくりの推進」は、その他が2位で最も順位が高く、主婦・主夫（パートなど）、主婦・主夫（専業）、学生及び無職で4位、会社員で5位、自営業で6位と、ほとんどの職業層で6位以内にランクインしたが、公務員のみ15位とベスト10圏外であった。
- ◇ 総合5位の「医療・衛生管理体制の充実」は、会社員及び無職で3位、自営業で4位、その他で5位、主婦・主夫（パートなど）で6位、主婦・主夫（専業）で7位と、ほとんどの職業層で7位以内にランクインしたが、学生は13位、公務員は15位と、この2つの職業層はベスト10圏外であった。
- ◇ なお、総合6位の「健康づくりの推進」は、その他が3位で最も評価が高かった。また、総合7位の「市役所の窓口サービスの向上」は、主婦・主夫（専業）が6位で最も評価が高く、総合8位の「高齢社会対策の推進」は、その他が6位で最も高い評価であった。総合9位の「身近な生活道路の整備」は、自営業で7位となり、総合10位の「観光・コンベンションの振興」は、会社員で7位となり、これらの層で最も高い評価であった。

(表1-3) 属性別にみた市政評価ベスト12 【1/2】

市政評価

(数値は平均スコア)

区分	回答者数	北九州市が行なっている施策や事業などで、以前に比べて「かなりよくなっている」もの、及び「今後、もっと力を入れてほしい」ものを次の中からそれぞれ1位から3位まで選んでください。												
		よくなっている												
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
		位	位	位	位	位	位	位	位	位	位	位	位	
全体	1,053	暴力追放	ごみ処理	子育て	公園整備	医療衛生	健康推進	市役所	高齢社会	生活道路	観光振興	都市景観	環境保全	
性別	男性	0.667	0.504	0.494	0.405	0.364	0.341	0.215	0.175	0.159	0.158	0.155	0.143	
	女性	448	暴力追放	子育て	ごみ処理	公園整備	医療衛生	健康推進	市役所	高齢社会	環境保全	都市景観	学術振興	
	無回答	593	0.884	0.451	0.429	0.379	0.342	0.263	0.196	0.192	0.170	0.161	0.158	0.154
		12	ごみ処理	子育て	暴力追放	公園整備	健康推進	医療衛生	市役所	観光振興	高齢社会	都市景観	生活道路	学校教育
年齢別	10・20歳代	69	0.570	0.531	0.497	0.452	0.398	0.341	0.229	0.169	0.165	0.155	0.143	
	30歳代	96	医療衛生	暴力追放	健康推進	公園整備	市街地	子育て	生活道路	健全育成	芸術文化	スポーツ	学術振興	
	40歳代	169	0.917	0.917	0.417	0.417	0.333	0.250	0.250	0.167	0.167	0.167	0.083	
	50歳代	171	暴力追放	子育て	ごみ処理	公園整備	市街地	子育て	住宅対策	生活道路	スポーツ	温暖化	学校教育	芸術文化
	60歳代	265	0.638	0.478	0.391	0.319	0.246	0.246	0.217	0.217	0.217	0.217	0.203	0.203
	70歳以上	271	0.667	0.563	0.469	0.427	0.260	0.250	0.219	0.219	0.177	0.177	0.177	0.167
	無回答	12	暴力追放	子育て	ごみ処理	公園整備	市街地	子育て	住宅対策	生活道路	スポーツ	温暖化	学校教育	芸術文化
		12	0.604	0.592	0.385	0.385	0.331	0.320	0.254	0.219	0.207	0.183	0.166	0.148
居住年数別	1年未満	16	暴力追放	子育て	ごみ処理	公園整備	市街地	子育て	住宅対策	生活道路	スポーツ	温暖化	学校教育	芸術文化
	2年未満	19	0.702	0.579	0.538	0.322	0.304	0.275	0.246	0.234	0.228	0.199	0.181	0.181
	3年未満	5	暴力追放	子育て	ごみ処理	公園整備	市街地	子育て	住宅対策	生活道路	スポーツ	温暖化	学校教育	芸術文化
	5年未満	24	0.702	0.562	0.460	0.453	0.445	0.377	0.317	0.166	0.147	0.147	0.128	0.125
	10年未満	34	暴力追放	子育て	ごみ処理	公園整備	市街地	子育て	住宅対策	生活道路	スポーツ	温暖化	学校教育	芸術文化
	20年未満	110	0.768	0.616	0.439	0.424	0.410	0.373	0.299	0.229	0.166	0.159	0.125	0.122
	30年未満	123	暴力追放	子育て	ごみ処理	公園整備	市街地	子育て	住宅対策	生活道路	スポーツ	温暖化	学校教育	芸術文化
	30年以上	711	0.917	0.667	0.583	0.417	0.250	0.250	0.250	0.167	0.167	0.167	0.167	0.167
無回答	11	暴力追放	子育て	ごみ処理	公園整備	市街地	子育て	住宅対策	生活道路	スポーツ	温暖化	学校教育	芸術文化	
	11	0.875	0.563	0.375	0.375	0.313	0.313	0.313	0.250	0.250	0.188	0.188	0.188	
	19	暴力追放	子育て	ごみ処理	公園整備	市街地	子育て	住宅対策	生活道路	スポーツ	温暖化	学校教育	芸術文化	
	5	0.526	0.474	0.474	0.316	0.316	0.263	0.263	0.211	0.211	0.158	0.158	0.158	
	24	健康推進	自然保護	子育て	学校教育	医療衛生	高齢社会	ポラ支援	観光振興	都市景観	生活道路	芸術文化	ごみ処理	
	34	1.600	0.800	0.600	0.600	0.400	0.400	0.400	0.400	0.400	0.200	0.200	0.200	
	110	暴力追放	子育て	ごみ処理	公園整備	市街地	子育て	住宅対策	生活道路	スポーツ	温暖化	学校教育	芸術文化	
	123	0.583	0.542	0.500	0.458	0.417	0.417	0.333	0.333	0.250	0.208	0.208	0.167	
	711	暴力追放	子育て	ごみ処理	公園整備	市街地	子育て	住宅対策	生活道路	スポーツ	温暖化	学校教育	芸術文化	
	11	0.765	0.529	0.412	0.324	0.294	0.235	0.235	0.235	0.206	0.206	0.206	0.176	
	110	暴力追放	子育て	ごみ処理	公園整備	市街地	子育て	住宅対策	生活道路	スポーツ	温暖化	学校教育	芸術文化	
	123	0.682	0.445	0.436	0.364	0.264	0.227	0.200	0.191	0.191	0.182	0.182	0.164	
	711	暴力追放	子育て	ごみ処理	公園整備	市街地	子育て	住宅対策	生活道路	スポーツ	温暖化	学校教育	芸術文化	
	11	0.780	0.415	0.382	0.382	0.374	0.317	0.236	0.228	0.195	0.195	0.195	0.195	
	11	暴力追放	子育て	ごみ処理	公園整備	市街地	子育て	住宅対策	生活道路	スポーツ	温暖化	学校教育	芸術文化	
	11	0.679	0.574	0.506	0.395	0.380	0.361	0.252	0.174	0.167	0.150	0.138	0.138	
	11	暴力追放	医療衛生	健康推進	公園整備	子育て	生活道路	健全育成	芸術文化	スポーツ	市役所	市街地	学術振興	
	11	1.000	0.727	0.455	0.455	0.273	0.273	0.182	0.182	0.182	0.182	0.182	0.091	

※平均スコアは小数点第4位以下を四捨五入

(表 1-3) 属性別にみた市政評価ベスト 12 【2/2】

市政評価

(数値は平均スコア)

区分	回答者数	北九州市が行なっている施策や事業などで、以前に比べて「かなりよくなっている」もの、及び「今後、もっと力を入れてほしい」ものを次の中からそれぞれ1位から3位まで選んでください。												
		よくなっている												
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
		位	位	位	位	位	位	位	位	位	位	位	位	
全体	1,053	暴力追放	ごみ処理	子育て	公園整備	医療衛生	健康推進	公園整備	生活道路	高齢社会	生活道路	観光振興	都市景観	環境保全
		0.667	0.504	0.494	0.405	0.364	0.341	0.215	0.175	0.159	0.158	0.155	0.143	
職業別	自営業	暴力追放	子育て	ごみ処理	医療衛生	健康推進	公園整備	生活道路	高齢社会	都市景観	芸術文化	学校教育	学術振興	
		65	0.831	0.677	0.431	0.323	0.308	0.277	0.246	0.215	0.200	0.185	0.154	0.154
	自由業	暴力追放	医療衛生	学校教育	生涯学習	スポーツ	学術振興	障害者	公園整備	芸術文化	高齢社会	道路網	道暖化	
		5	1.200	0.800	0.600	0.600	0.600	0.400	0.400	0.400	0.400	0.200	0.200	0.200
	会社員	暴力追放	子育て	医療衛生	ごみ処理	公園整備	健康推進	観光振興	都市景観	環境保全	学校教育	温暖化	芸術文化	
		257	0.805	0.502	0.339	0.339	0.331	0.307	0.233	0.210	0.206	0.171	0.167	0.152
	公務員・教員	暴力追放	子育て	ごみ処理	市道	公園整備	学術振興	環境保全	都市景観	役所	観光振興	温暖化	住宅対策	
		37	0.703	0.514	0.351	0.297	0.297	0.270	0.270	0.243	0.243	0.216	0.216	0.189
	農・林・漁業	子育て	健康推進	医療衛生	人権尊重	学校教育	ごみ処理	温暖化						
		4	1.500	1.250	0.500	0.500	0.250	0.250	0.250					
	主婦・主夫(パートなど)	子育て	ごみ処理	暴力追放	公園整備	健康推進	医療衛生	役所	観光振興	学校教育	生活道路	生涯学習	市街地	
		172	0.634	0.570	0.541	0.535	0.448	0.430	0.221	0.192	0.174	0.151	0.145	0.134
	主婦・主夫(専業)	ごみ処理	子育て	暴力追放	公園整備	健康推進	市役所	医療衛生	高齢社会	生活道路	都市景観	温暖化	国際交流	
		180	0.622	0.539	0.494	0.389	0.372	0.311	0.250	0.206	0.194	0.133	0.133	0.122
学生	ごみ処理	暴力追放	スポーツ	公園整備	住宅対策	防災体制	温暖化	学術振興	人権尊重	芸術文化	市街地	国際交流		
	28	0.857	0.429	0.393	0.357	0.321	0.286	0.286	0.250	0.214	0.214	0.214	0.214	
無職	暴力追放	ごみ処理	医療衛生	公園整備	子育て	健康推進	市役所	高齢社会	環境保全	生活道路	都市景観	学術振興		
	238	0.706	0.651	0.479	0.424	0.378	0.345	0.303	0.248	0.155	0.147	0.134	0.130	
その他	暴力追放	公園整備	健康推進	子育て	医療衛生	学校教育	高齢社会	市街地	交通物流	ごみ処理	生涯学習	防災体制		
	53	0.679	0.642	0.340	0.321	0.283	0.245	0.245	0.226	0.208	0.208	0.170	0.170	
無回答	医療衛生	暴力追放	公園整備	子育て	健康推進	スポーツ	学術振興	生活道路	健全育成	高齢社会	芸術文化	市役所		
	14	0.786	0.786	0.643	0.429	0.357	0.286	0.214	0.214	0.143	0.143	0.143	0.143	

※平均スコアは小数点第4位以下を四捨五入

## (4) 地区別にみた特徴 (表 1-4 参照)

## ① 行政区別にみた特徴

◇ 総合1位の「防犯、暴力追放運動の推進」を行政区別にみると、八幡東区で3位、門司区で5位、それ以外の5区で全て1位となっており、全ての区で高く評価されている。

平均スコア(総合0.667)では、八幡西区(0.777)が最も高く、次いで小倉南区(0.775)、小倉北区(0.694)、戸畑区(0.646)、若松区(0.510)と続いた。一方、最も低かったのは門司区(0.418)、次いで八幡東区(0.464)で、この2区を除いた全ての区で0.500水準を上回った。

◇ 総合2位の「ごみの適正処理とリサイクル」は、門司区、小倉北区、小倉南区及び戸畑区で2位、若松区及び八幡西区で3位、八幡東区で4位となった。いずれの区でも比較的高く評価されており、市民全般に安定的に評価されているという側面が確認された。

平均スコア(総合0.504)では、小倉北区(0.650)が最も高く、次いで戸畑区(0.569)、小倉南区(0.554)と続いた。一方、最も低かったのは八幡東区(0.381)で、次いで若松区(0.408)、八幡西区(0.423)と続き、この3区で0.500水準を下回った。

◇ 総合3位の「子育て支援の推進」は、門司区で1位、若松区、八幡東区及び八幡西区

で2位、戸畑区で3位、小倉北区及び小倉南区で4位と、いずれの区でも高評価を得ている。

平均スコア(総合0.494)では、門司区(0.600)が最も高く、次いで八幡東区(0.571)、戸畑区(0.523)と続いた。一方、最も評価が低かったのは小倉南区(0.428)で、次いで小倉北区(0.448)、若松区(0.490)と続き、この3区で0.500水準を下回った。

◇ 次に、区別の評価の様子をみてゆく。

まず門司区の上位5項目は、前年度と比べると順位に変動があり、総合3位の「子育て支援の推進」が1位で、前年度(3位)より2つ順位を上げた。総合4位の「公園の整備など、緑のまちづくりの推進」は3位で、前年度(5位)より2つ順位を上げた。

一方、総合2位の「ごみの適正処理とリサイクル」は2位で、前年度(1位)より1つ順位を下げ、総合6位の「健康づくりの推進」は4位で、こちらも前年度(3位)より1つ順位を下げた。総合1位の「防犯、暴力追放運動の推進」は5位で、こちらも前年度(2位)より3つ順位を下げた。

◇ 小倉北区の上位5項目は、まず総合1位の「防犯、暴力追放運動の推進」が1位で、前年度と同位だった。次いで、総合2位の「ごみの適正処理とリサイクル」が2位と、前年度(3位)から1つ順位を上げ、総合4位の「公園の整備など、緑のまちづくりの推進」が3位で、前年度(2位)から1つ順位を下げた。総合3位の「子育て支援の推進」が4位で、総合5位の「医療・衛生管理体制の充実」は5位と、これらは前年度と同位であった。

◇ 小倉南区の上位5項目は、まず総合1位の「防犯、暴力追放運動の推進」が1位で、前年度と同順位だった。総合2位の「ごみの適正処理とリサイクル」が2位と前年度(3位)より1つ順位を上げ、総合4位の「公園の整備など、緑のまちづくりの推進」が3位と前年度(4位)より1つ順位を上げた。総合3位の「子育て支援の推進」は4位と、こちらも前年度(5位)より1つ順位を上げた。一方、総合5位の「医療・衛生管理体制の充実」が5位で前年度(2位)より3つ順位を下げた。

◇ 若松区の上位5項目は、総合1位の「防犯、暴力追放運動の推進」が1位で、前年度(2位)より順位を1つ上げ、総合3位の「子育て支援の推進」は2位で、前年度(5位)より順位を3つ上げた。総合2位の「ごみの適正処理とリサイクル」が3位で、前年度(1位)より順位を2つ下げた。総合6位の「健康づくりの推進」が4位で、前年度と同順位であった。なお、総合14位の「学術の振興」は5位と前年度(6位)より1つ順位を上げ、7区のなかでは最も高い評価を得ており、学術研究都市を推進する若松区の特徴が出ている。

◇ 八幡東区の上位5項目は、総合4位の「公園の整備など、緑のまちづくりの推進」が1位で、前年度(5位)より4つ順位を上げた。総合3位の「子育て支援の推進」は2位で、前年度(6位)より順位を4つ上げた。一方、総合1位の「防犯、暴力追放運動の推進」が3位で、前年度(2位)より1つ順位を下げ、総合2位の「ごみの適正処理とリサイクル」は4位で、前年度と同順位であった。なお、総合7位の「市役所の窓口サービスの向上」が5位で、前年度(7位)より2つ順位を上げ、7区のなかでは最も高い評価を得ている。

◇ 八幡西区の上位5項目は、総合1位の「防犯、暴力追放運動の推進」が1位、総合2位の「ごみの適正処理とリサイクル」が3位と、これらは前年度と同順位であった。総合3位の「子育て支援の推進」が2位で、前年度(4位)より2つ順位を上げ、総合5

位の「医療・衛生管理体制の充実」が4位で、前年度（5位）より1つ順位を上げた。一方、総合3位の「公園の整備など、緑のまちづくりの推進」が5位で、前年度（2位）より3つ順位を下げた。

- ◇ 最後に戸畑区の上位5項目は、総合1位の「防犯、暴力追放運動の推進」が1位で、総合3位の「子育て支援の推進」が3位、総合6位の「健康づくりの推進」は4位と、これらはいずれも前年度と同順位であった。総合2位の「ごみの適正処理とリサイクル」が2位と、前年度（5位）より3つ順位を上げた。一方、総合4位の「公園の整備など、緑のまちづくりの推進」が5位で、前年度（2位）より3つ順位を下げた。

## ② 18 地区別にみた特徴

ここでは、7つの行政区を18地区に細分化して調査結果を概観したい。

- ◇ 総合1位の「防犯、暴力追放運動の推進」を18地区別にみると、前年度は門司港地区で5位となり、それ以外の17地区全てで3位以内だった。今年度は二島及び八幡東（東部）地区で4位となり、門司（大里）地区で5位、門司（東部）地区で7位であった。それ以外の14地区全てで3位以内に入った。前年度に比べて地区間のランク幅は広がったが、地区を細分化してもこの事業に対する市民の評価は総じて高いといえる。平均スコア（総合0.667）は、前年度（総合0.617）は小倉地区（1.000）が最も高く、唯一1.000水準を上回った。今年度は徳力地区（1.000）が最も高く、唯一1.000水準を上回った。次いで黒崎地区（0.942）、上津役地区（0.840）と続いた。一方、最も低かったのは二島地区の0.309で、次いで門司（大里）地区（0.369）、門司（東部）地区（0.389）と続き、それ以外の15地区で0.400水準を上回った。
- ◇ 総合2位の「ごみの適正処理とリサイクル」をみると、前年度は門司港、小倉（西部）、二島及び八幡東（東部）地区の1位を筆頭に、2位が2地区、3位が3地区、4位が5地区、5位が1地区、6位が1地区と続き、最も順位が低かったのは小倉地区の7位であった。今年度は、門司港、小倉及び小倉（東部）地区の1位を筆頭に、2位が6地区、3位が3地区、4位が3地区と続き、最も順位が低かったのは八幡東（東部）、八幡東（西部）及び香月地区の5位であった。18地区全てで5位以内にランクインし、今年度は前年度に比べて地区間のランク幅が狭くなっているなど、地区を細分化してもこの事業に対する市民の評価は概ね高いといえる。平均スコア（総合0.504）は、前年度は門司港地区（0.759）が最も高かったが、今年度は小倉（東部）地区（0.737）が最も高く、次いで小倉地区（0.705）、門司港地区（0.630）、徳力地区（0.621）と続き、これら4地区で0.600水準を上回った。一方、最も低かったのは香月地区（0.2400）で、唯一0.300水準を下回った。
- ◇ 総合3位の「子育て支援の推進」は、門司（大里）、二島及び香月地区の1位を筆頭に、2位が5地区、3位が5地区、4位が2地区、5位が1地区、6位が1地区と続き、最も順位が低かったのは小倉（東部）地区の7位であった。18地区全てで7位以内にランクインした。平均スコア（総合0.494）は、門司（大里）地区（0.646）が最も高く、香月地区（0.600）と続き、これら2地区で0.600水準を上回った。一方、最も低かったのは小倉（東部）地区（0.246）で、この地区のみ0.300水準を下回った。
- ◇ 総合4位の「公園の整備など、緑のまちづくりの推進」は、八幡東（東部）及び八幡東（西部）地区の1位を筆頭に、2位が2地区、3位が3地区、4位が4地区、5位が4地区、6位が1地区、12位が1地区と続き、最も低かったのは若松地区の16位であ

った。平均スコア（総合 0.405）は、小倉地区（0.659）が最も高く、八幡東（東部）地区（0.653）、八幡東（西部）地区（0.629）と続き、これら3地区は0.600水準を上回った。一方、最も低かったのは若松地区（0.070）でこの地区のみ0.100水準を下回った。

- ◇ 総合5位の「医療・衛生管理体制の充実」は、門司（東部）地区の1位を筆頭に、3位が4地区、4位が4地区、5位が3地区、6位が2地区、8位が2地区、11位が1地区と続き、最も順位が低かったのは八幡東（西部）地区の12位であった。平均スコア（総合0.364）は、門司（東部）地区（0.667）が最も高く、小倉（東部）地区（0.526）と続き、これらの地区は0.500水準を上回った。一方、最も低かった門司港地区（0.148）と続く八幡東（西部）地区（0.171）、徳力地区（0.197）の3地区は0.200水準を下回った。
- ◇ 総合6位の「健康づくりの推進」は、門司（東部）及び若松地区で2位、4位が5地区、5位が4地区、6位が3地区、7位が1地区、8位が1地区、10位が1地区と続き、これら17地区でベスト10入りした。なお、八幡東（西部）地区（23位）のみ、ベスト10圏外であった。平均スコア（総合0.341）は、門司（東部）地区（0.556）が最も高く、唯一0.500水準を上回った。次いで、若松地区（0.488）、小倉地区（0.455）と続いた。一方、最も低かったのは八幡東（西部）地区（0.057）で唯一0.100水準を下回った。
- ◇ 総合7位の「市役所の窓口サービスの向上」は、八幡東（西部）地区の4位を筆頭に、13地区でベスト10入りした。平均スコア（総合0.215）は、八幡東（西部）地区（0.400）が最も高かった。最も低いのは戸畑地区で、ランク外となっている。
- ◇ 総合8位の「高齢社会対策の推進」は、徳力地区の4位を筆頭に、10地区でベスト10入りした。総合9位の「身近な生活道路の整備」は、八幡東（西部）地区の6位を筆頭に、9地区でベスト10入りし、総合10位の「観光・コンベンションの振興」は、黒崎地区の6位を筆頭に、6地区でベスト10入りしている。



(表1-4) 地区別にみた市政評価ベスト12 【1/2】

市政評価

(数値は平均スコア)

区分	回答者数	北九州市が行なっている施策や事業などで、以前に比べて「かなりよくなっている」もの、及び「今後、もっと力を入れてほしい」ものを次の中からそれぞれ1位から3位まで選んでください。												
		よくなっている												
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
		位	位	位	位	位	位	位	位	位	位	位	位	
全体	1,053	暴力追放	ごみ処理	公園整備	子育	健康推進	医療衛生	健康推進	市役所	高齢社会	生活道路	観光振興	都市景観	環境保全
地区別														
門司区	110	子育	ごみ処理	公園整備	子育	健康推進	医療衛生	健康推進	市役所	観光振興	学校教育	都市景観	スポーツ	生涯学習
小倉北区	183	暴力追放	ごみ処理	公園整備	子育	健康推進	医療衛生	健康推進	市役所	観光振興	都市生活道路	市景観	高年齢社会	環境保全
小倉南区	222	暴力追放	ごみ処理	公園整備	子育	健康推進	医療衛生	健康推進	市役所	高齢社会	環境保全	市役所	都市景観	学校教育
若松区	98	暴力追放	子育	ごみ処理	健康推進	学術振興	医療衛生	市役所	学校教育	高齢社会	生活道路	交通物流	道路網	環境保全
八幡東区	84	公園整備	子育	暴力追放	ごみ処理	健康推進	市役所	医療衛生	健康推進	都市景観	観光振興	環境保全	生涯学習	環境保全
八幡西区	291	暴力追放	子育	ごみ処理	医療衛生	公園整備	健康推進	市役所	生活道路	高齢社会	観光振興	学術振興	環境保全	環境保全
戸畑区	65	暴力追放	ごみ処理	子育	健康推進	公園整備	市役所	芸術文化	医療衛生	高齢社会	生活道路	学校教育	都市景観	都市景観
門司港	27	ごみ処理	子育	暴力追放	健康推進	公園整備	市役所	観光振興	高齢社会	住宅対策	スポーツ	学校教育	健全育成	健全育成
門司(大里)	65	子育	ごみ処理	公園整備	健康推進	暴力追放	医療衛生	生活道路	学術振興	生涯学習	都市景観	市役所	観光振興	観光振興
門司(東部)	18	医療衛生	健康推進	子育	学校教育	公園整備	ごみ処理	暴力追放	芸術文化	市役所	都市景観	防災体制	観光振興	観光振興
門司区計	110	子育	ごみ処理	公園整備	健康推進	暴力追放	医療衛生	市役所	都市景観	観光振興	学校教育	スポーツ	生涯学習	生涯学習
小倉	44	ごみ処理	公園整備	暴力追放	子育	医療衛生	健康推進	観光振興	防災体制	都市景観	生活道路	芸術文化	市役所	市役所
小倉(東部)	57	ごみ処理	暴力追放	医療衛生	公園整備	市役所	健康推進	子育	高齢社会	市役所	環境保全	スポーツ	都市景観	都市景観
小倉(西部)	82	暴力追放	ごみ処理	子育	公園整備	健康推進	医療衛生	市役所	都市景観	生活道路	観光振興	学校教育	高年齢社会	高年齢社会
小倉北区計	183	暴力追放	ごみ処理	公園整備	子育	医療衛生	健康推進	市役所	観光振興	都市景観	生活道路	市役所	高年齢社会	高年齢社会
城野	50	暴力追放	公園整備	医療衛生	ごみ処理	子育	市役所	高齢社会	障害者	都市景観	健康推進	環境保全	生活道路	生活道路
曾根	106	暴力追放	ごみ処理	公園整備	医療衛生	健康推進	子育	環境保全	学校教育	高齢社会	都市景観	芸術文化	市役所	市役所
徳力	66	暴力追放	ごみ処理	子育	高齢社会	市役所	公園整備	健康推進	学校教育	医療衛生	環境保全	観光振興	市役所	市役所
小倉南区計	222	暴力追放	ごみ処理	公園整備	子育	医療衛生	健康推進	高齢社会	環境保全	市役所	市役所	都市景観	学校教育	学校教育

※平均スコアは小数点第4位以下を四捨五入

(表1-4) 地区別にみた市政評価ベスト12 【2/2】

市政評価

(数値は平均スコア)

区分	回答者数	北九州市が行なっている施策や事業などで、以前に比べて「かなりよくなっている」もの、及び「今後、もっと力を入れてほしい」ものを次の中からそれぞれ1位から3位まで選んでください。												
		よくなっている												
		1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位	7 位	8 位	9 位	10 位	11 位	12 位	
全体	1,053	暴力追放 0.667	ごみ処理 0.504	子育て 0.494	公園整備 0.405	医療衛生 0.364	健康推進 0.341	市役所 0.215	高齢社会 0.175	生活道路 0.159	観光振興 0.158	都市景観 0.155	環境保全 0.143	
若松区	若松	43	暴力追放 0.767	健康推進 0.488	ごみ処理 0.465	子育て 0.419	医療衛生 0.302	市役所 0.256	学校教育 0.233	学校振興 0.233	生活道路 0.233	高齢社会 0.163	市街地 0.163	道路網 0.163
	二島	55	子育て 0.545	学術振興 0.400	ごみ処理 0.364	医療衛生 0.309	暴力追放 0.309	健康推進 0.309	市役所 0.255	高齢社会 0.236	温暖化 0.200	学校教育 0.182	都市景観 0.182	公園整備 0.164
	若松区計	98	暴力追放 0.510	子育て 0.490	ごみ処理 0.408	健康推進 0.388	学術振興 0.327	医療衛生 0.306	市役所 0.255	学校教育 0.204	高齢社会 0.204	生活道路 0.184	交通物流 0.153	道路網 0.143
八幡東区	八幡東(東部)	49	公園整備 0.653	子育て 0.571	医療衛生 0.449	暴力追放 0.429	ごみ処理 0.388	健康推進 0.347	市役所 0.327	生涯学習 0.163	芸術文化 0.163	観光振興 0.163	環境保全 0.163	学校教育 0.143
	八幡東(西部)	35	公園整備 0.629	子育て 0.571	暴力追放 0.514	市役所 0.400	ごみ処理 0.371	生活道路 0.314	温暖化 0.286	都市景観 0.257	観光振興 0.229	環境保全 0.229	学術振興 0.200	生涯学習 0.171
	八幡東区計	84	公園整備 0.643	子育て 0.571	暴力追放 0.464	ごみ処理 0.381	市役所 0.357	健康衛生 0.333	健康推進 0.226	市役所 0.190	健康推進 0.190	観光振興 0.190	環境保全 0.190	温暖化 0.167
八幡西区	黒崎	69	暴力追放 0.942	ごみ処理 0.580	子育て 0.478	医療衛生 0.449	公園整備 0.377	観光振興 0.275	市役所 0.246	健康推進 0.217	学術振興 0.174	高齢社会 0.159	都市景観 0.159	芸術文化 0.130
	折尾	91	暴力追放 0.780	子育て 0.505	ごみ処理 0.440	医療衛生 0.385	健康推進 0.319	公園整備 0.319	高齢社会 0.231	市役所 0.220	スポーツ 0.198	学術振興 0.176	生活道路 0.176	芸術文化 0.143
	上津役	81	暴力追放 0.840	子育て 0.469	医療衛生 0.432	ごみ処理 0.383	健康推進 0.358	公園整備 0.358	市役所 0.259	学校教育 0.235	生活道路 0.198	環境保全 0.198	高齢社会 0.160	観光振興 0.160
	香月	50	子育て 0.600	暴力追放 0.440	公園整備 0.400	健康推進 0.300	医療衛生 0.240	ごみ処理 0.240	都市景観 0.220	生活道路 0.220	防災体制 0.180	学校教育 0.140	学術振興 0.140	住宅対策 0.140
	八幡西区計	291	暴力追放 0.777	子育て 0.505	ごみ処理 0.423	医療衛生 0.388	公園整備 0.357	健康推進 0.302	市役所 0.213	生活道路 0.175	高齢社会 0.165	観光振興 0.165	学術振興 0.151	環境保全 0.141
戸畑区	戸畑	65	暴力追放 0.646	ごみ処理 0.569	子育て 0.523	健康推進 0.446	公園整備 0.400	市街地 0.246	芸術文化 0.231	医療衛生 0.200	高齢社会 0.185	生活道路 0.169	学校教育 0.154	都市景観 0.154
	戸畑区計	65	暴力追放 0.646	ごみ処理 0.569	子育て 0.523	健康推進 0.446	公園整備 0.400	市街地 0.246	芸術文化 0.231	医療衛生 0.200	高齢社会 0.185	生活道路 0.169	学校教育 0.154	都市景観 0.154

※平均スコアは小数点第4位以下を四捨五入

## 2 行政施策への要望

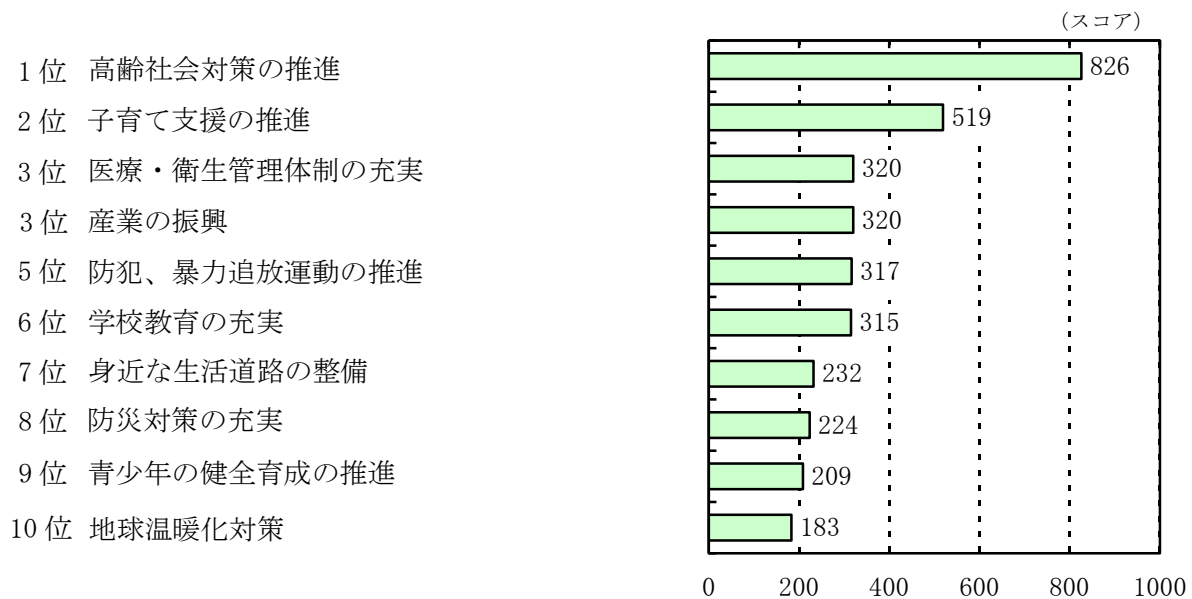
現在、北九州市が行っている施策や事業 34 項目のなかから、「今後、もっと力を入れてほしい」ものを 1 位から 3 位まで回答を求めた。その結果を上位順に示したものが（表 2-1）、上位 10 項目を棒グラフで表したものが（図 2-1）である。

（表 2-1） 「今後、もっと力を入れてほしい」もの

順位	調査項目	スコア (得点数)
1	高齢社会対策の推進	826
2	子育て支援の推進	519
3	医療・衛生管理体制の充実（救急医療、感染症対策など）	320
3	産業の振興（企業の誘致・成長支援、雇用の促進など）	320
5	防犯、暴力追放運動の推進	317
6	学校教育の充実	315
7	身近な生活道路の整備	232
8	防災体制の充実	224
9	青少年の健全育成の推進	209
10	地球温暖化対策、省エネ、再生可能エネルギーの推進	183
11	駐車対策	174
12	道路・交通ネットワークの整備	170
13	障害者施策の推進	159
14	健康づくりの推進（検診、予防、食育など）	141
15	公園の整備など、緑のまちづくりの推進	137
16	市役所の窓口サービスの向上	129
16	市街地の整備・再開発	129
18	大気・騒音・水質などの環境保全	127
19	ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進	121
20	ごみの適正処理とリサイクル	120
21	住宅供給の促進・快適な住環境の整備	113
21	アジアを中心とした交流の推進と国籍を問わず快適に暮らせるまちづくり	113
23	生涯学習の推進	95
24	地域コミュニティづくりの支援	93
25	交通・物流（空港、港湾など）機能の強化	84
26	自然環境の保全と自然とのふれあいの推進	82
27	消費者被害防止対策	76
28	都市景観の整備（まち並みづくりと歴史的建造物の活用など）	75
29	芸術・文化活動の振興	69
30	学術の振興（学術研究都市の推進、市立大学の充実など）	54
31	スポーツの振興	51
32	人権の尊重と男女共同参画（あらゆる分野への女性の参画）の推進	49
32	観光・コンベンション（大規模な会議など）の振興	49
34	ボランティア・NPO活動の支援	37

注) スコアは、1 位 3 点、2 位 2 点、3 位 1 点を合計したもの

(図2-1) 市政要望トップ10



### (1) 調査結果の概要

結果をみると、「今後、もっと力を入れてほしい」とする行政への要望は、1位に「高齢社会対策の推進」（スコア826）が入った。この項目は、平成23年度まで17年連続1位であった。平成24年度は2位となったが平成25年度は再度1位となって、今年度で6年連続1位となった。

2位には、「子育て支援の推進」（スコア519）が入った。この項目は、平成19年度以降連続で4位または5位にランクインしており、以前から市民の要望が強かった。平成25年度から2年連続で3位に入り、平成27年度は順位が1つ上がり2位となって、今年度で4年連続2位となっており、近年は市民の要望が更に強まっていることがうかがえる。

3位の「医療・衛生管理体制の充実」（スコア320）は、平成22年度から連続して5位以内に入っており、平成26年度以降毎年順位が1つ上がり、今年度は2年連続3位となった。こちらも近年は市民からの要望が強まっていることがうかがえる。

同じく3位の「産業の振興」（スコア320）は、平成20年度から連続して5位以内に入っている。平成27年度は3位、平成28年度は5位、前年度は4位、今年度は3位と、年度により順位に変動はあるものの、5位以内に連続でランクインしている。

5位の「防犯、暴力追放運動の推進」（スコア317）は、平成11年度以降連続で5位以内と常に上位に顔を出しており、平成24年度は1位、平成25年度及び平成26年度は2位であった。平成27年度は4位、平成28年度は3位、前年度は順位が2つ下がって5位となり、今年度も2年連続で5位と、こちらも年度により順位に変動はあるものの、5位以内に連続でランクインしている。

6位の「学校教育の充実」（スコア315）は、9年連続同順位であった。

7位の「身近な生活道路の整備」（スコア232）は、平成27年度は10位であったが、平成28年度は9位、前年度は7位と順位が上がり、今年度も2年連続で7位となった。

8位の「防災体制の充実」（スコア224）は、平成28年度17位、前年度11位とランク外が続いていたが、今年度は順位が2つ上がり9位となった。

9位の「青少年の健全育成の推進」（スコア209）は、平成25年度から平成28年度まで

4年連続で7位だったが、前年度は8位、今年度は更に順位が1つ下がり9位となった。

10位の「地球温暖化対策」(スコア183)は、平成28年度16位、前年度15位とランク外が続いていたが、今年度は順位が5つ上がり10位となった。

以上、今年度は、これら10項目により市政要望のトップ10が形成されている。

## (2) 市政要望の推移

ここでは、主に上位 10 位までの市政要望の経年変化の様子をみる。また順位の指標とは別に、項目ごとの評価の水準（高低）を比較可能にするため、総合得点を回答者数で割った平均スコアも分析に加えた。以下、過去 3 年間を中心に変化をみると次のような特徴を指摘できる。（表 2-2）参照

- ◇ 市政要望 1 位の「高齢社会対策の推進」は、平成 23 年度まで 17 年間連続 1 位に登場し、平成 24 年度は 2 位に後退したが、平成 25 年度以降は 6 年連続 1 位と、市民の根強い関心の高さや期待感の大きさをうかがわせる結果となった。平均スコアは、平成 28 年度が 0.738、前年度は 0.838 と上昇したが、今年度は 0.784 と下降に転じた。
- ◇ 2 位となった「子育て支援の推進」は、平成 17 年度の 2 位をピークに、平成 22 年度及び平成 23 年度は 5 位まで要望順位が下がったが、平成 24 年度は 4 位、平成 25 年度及び平成 26 年度は 3 位、平成 27 年度は 2 位と順位が上がり、今年度で 4 年連続 2 位となるなど、経年的に市民からの要望が高まっている。平均スコアは、平成 28 年度が 0.581、前年度は 0.511 と下降し、今年度は 0.493 と更に下降した。
- ◇ 3 位の「医療・衛生管理体制の充実」は、平成 24 年度から 27 年度まで 4 年連続して 5 位が続いていたが、平成 28 年度は 4 位、前年度は 3 位と順位が上がり、今年度は 2 年連続 3 位と経年的に市民からの要望が高まっている。平均スコアは、平成 28 年度 0.331、前年度 0.353 と上昇したが、今年度 0.304 と下降に転じた。
- ◇ 同じく 3 位の「産業の振興」は、平成 22 年度から 27 年度までは 3 位または 4 位にランクインが続いていた。平成 28 年度は 2 つ順位が下がり 5 位となったが、前年度は 4 位、今年度は 3 位と順位が上がっている。平均スコアは平成 28 年度が 0.328、前年度は 0.346 と上昇したが、今年度は 0.304 と下降に転じた。
- ◇ 5 位となった「防犯、暴力追放運動の推進」は、平成 15 年度及び平成 16 年度の 2 位をピークに、平成 21 年度は 5 位まで要望順位が下がった。その後、平成 22 年度 4 位、平成 23 年度 2 位、平成 24 年度 1 位と順位が上がり、平成 25 年度及び平成 26 年度は 2 位と要望順位が高まっていた。それ以降、平成 27 年度は 4 位まで要望順位が下がり、平成 28 年度は 3 位、前年度は 5 位、今年度は 2 年連続 5 位となった。平均スコアは、平成 28 年度が 0.439、前年度が 0.290 と大幅に下降したが、今年度は 0.301 と上昇に転じた。
- ◇ 6 位の「学校教育の充実」は、平成 18 年度の 4 位から徐々にランクが下がり、平成 21 年度は 7 位にまで要望順位が下がったが、平成 22 年度以降 9 年連続で 6 位となっている。平均スコアは、平成 28 年度が 0.315、前年度は 0.278 と下降したが、今年度は 0.299 と上昇に転じた。この項目は施策の性格上、一朝一夕に成果が表れるものではないが、今後もこの意識調査結果の注視が求められる。
- ◇ 7 位の「身近な生活道路の整備」は、平成 23 年度に 9 位とトップ 10 内にランクインし、平成 24 年度及び平成 25 年度はトップ 10 圏外となったが、平成 26 年度及び平成 27 年度は再度 10 位にランクインした。平成 28 年度は順位が 1 つ上がって 9 位、前年度は更に順位が 2 つ上がって 7 位となり、今年度も 2 年連続 7 位となった。平均スコアは、平成 28 年度 0.172、前年度 0.216、今年度 0.220 と上昇が続いている。
- ◇ 8 位の「防災対策の充実」は、平成 28 年度は 17 位であったが、前年度は順位が 6 つ上がって 11 位になり、今年度は更に順位が 2 つ上がり、9 位にランクインした。平均スコアは、平成 28 年度は 0.122、前年度は 0.143 と上昇したが、今年度 0.213 と更に上昇

している。

- ◇ 9位の「青少年の健全育成の推進」は、平成19年度から21年度はトップ10圏外であったが、平成22年度及び平成23年度は7位にランクインした。平成24年度は10位まで順位が下がったものの、平成25年度から平成28年度は4年連続7位、前年度は順位が1つ下がって8位となり、今年度は更に順位が1つ下がって9位となった。平均スコアは、平成28年度0.196、前年度0.190と下降したが、今年度0.198と上昇に転じている。
- ◇ 最後の10位には「地球温暖化対策」が入った。平成28年度16位、前年度は順位が1つ上がって15位であったが、今年度は順位が5つ上がって10位となった。平均スコアは、平成28年度0.123、前年度0.135、今年度0.174と上昇が続いている。

(表 2-2) 市政要望の経年変化

(要望)「今後、もっと力を入れてほしい」

〔(順位)と平均スコア〕

調査項目		平成28年度	平成29年度	平成30年度
子育て、 人材育成、 教育、	1 子育て支援の推進	(2) .581	(2) .511	(2) .493
	2 学校教育の充実	(6) .315	(6) .278	(6) .299
	3 青少年の健全育成の推進	(7) .196	(8) .190	(9) .198
	4 学術の振興(学術研究都市の推進、市立大学の充実など)	(32) .049	(32) .048	(30) .051
	5 生涯学習の推進	(26) .068	(22) .095	(23) .090
健康、 安心・ 安全	6 医療・衛生管理体制の充実(救急医療、感染症対策など)	(4) .331	(3) .353	(3) .304
	7 防犯、暴力追放運動の推進	(3) .439	(5) .290	(5) .301
	8 防災体制の充実	(17) .122	(11) .143	(8) .213
	9 消費者被害防止対策	(30) .054	(26) .069	(27) .072
	10 高齢社会対策の推進	(1) .738	(1) .838	(1) .784
	11 障害者施策の推進	(13) .134	(12) .138	(13) .151
	12 健康づくりの推進(検診、予防、食育など)	(20) .098	(17) .127	(14) .134
	13 人権の尊重と男女共同参画(あらゆる分野への女性の参画)の推進	(33) .030	(34) .038	(32) .047
14 ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進	(12) .137	(13) .137	(19) .115	
快適な暮らし、 文化・ スポーツ	15 公園の整備など、緑のまちづくりの推進	(18) .118	(16) .132	(15) .130
	16 都市景観の整備(まち並みづくりと歴史的建造物の活用など)	(26) .068	(30) .062	(28) .071
	17 住宅供給の促進・快適な住環境の整備	(21) .091	(20) .102	(21) .107
	18 駐車対策	(8) .182	(10) .158	(11) .165
	19 身近な生活道路の整備	(9) .172	(7) .216	(7) .220
	20 芸術・文化活動の振興	(23) .083	(25) .071	(29) .066
	21 スポーツの振興	(24) .082	(29) .063	(31) .048
	22 地域コミュニティづくりの支援	(28) .064	(24) .074	(24) .088
23 ボランティア・NPO活動の支援	(34) .027	(33) .039	(34) .035	
24 市役所の窓口サービスの向上	(10) .150	(9) .164	(16) .123	
産業	25 産業の振興(企業の誘致・成長支援、雇用の促進など)	(5) .328	(4) .346	(3) .304
	26 観光・コンベンション(大規模な会議など)の振興	(31) .052	(31) .049	(32) .047
都市 ・ 物流 ・ 基盤	27 市街地の整備・再開発	(14) .132	(14) .136	(16) .123
	28 交通・物流(空港、港湾など)機能の強化	(22) .084	(23) .077	(25) .080
	29 道路・交通ネットワークの整備	(15) .130	(19) .108	(12) .161
環境	30 ごみの適正処理とリサイクル	(19) .106	(21) .098	(20) .114
	31 大気・騒音・水質などの環境保全	(11) .146	(18) .116	(18) .121
	32 地球温暖化対策、省エネ、再生可能エネルギーの推進	(16) .123	(15) .135	(10) .174
	33 自然環境の保全と自然とのふれあいの推進	(25) .076	(27) .066	(26) .078
交流・ 連携	34 アジアを中心とした交流の推進と国籍を問わず快適に暮らせるまちづくり	(29) .062	(27) .066	(21) .107

注) 順位: 1位3点、2位2点、3位1点を合計した順位(表2-1)をそのまま表示

平均スコア: 1位3点、2位2点、3位1点を合計し、回答者数で割ったもの



(表2-2) その2 市政要望の推移(上位10位)

( )内は得点数で、1位3点、2位2点、3位1点として計算

順位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
1位	高齢社会対策の推進(1,139)	高齢社会対策の推進(975)	高齢社会対策の推進(1,006)	高齢社会対策の推進(826)
2位	子育て支援の推進(786)	子育て支援の推進(768)	子育て支援の推進(614)	子育て支援の推進(519)
3位	産業の振興(523)	防犯、暴力追放運動の推進(581)	医療・衛生管理体制の充実(424)	医療・衛生管理体制の充実(320)
4位	防犯、暴力追放運動の推進(522)	医療・衛生管理体制の充実(437)	産業の振興(416)	産業の振興(320) ※同スコア3位
5位	医療・衛生管理体制の充実(422)	産業の振興(434)	防犯、暴力追放運動の推進(348)	防犯、暴力追放運動の推進(317)
6位	学校教育の充実(382)	学校教育の充実(416)	学校教育の充実(334)	学校教育の充実(315)
7位	青少年の健全育成の推進(335)	青少年の健全育成の推進(259)	身近な生活道路の整備(260)	身近な生活道路の整備(232)
8位	地球温暖化対策などの推進(228)	駐車対策(241)	青少年の健全育成の推進(228)	防災体制の充実(224)
9位	駐車対策(223)	身近な生活道路の整備(228)	市役所の窓口サービスの向上(197)	青少年の健全育成の推進(209)
10位	身近な生活道路の整備(213)	市役所の窓口サービスの向上(198)	駐車対策(190)	地球温暖化対策などの推進(183)
11位	市役所の窓口サービスの向上(197)	11位 大気・騒音・水質などの環境保全(193)	11位 防災体制の充実(172) ※H28年度17位	11位 駐車対策(174)
12位	12位 大気・騒音・水質などの環境保全(196)	12位 ワーク・ライフ・バランスの推進(181) ※H27年度17位	12位 障害者施策の推進(166)	12位 道路・交通ネットワークの整備(170) ※H29年度19位
13位	13位 健康づくりの推進(181)	13位 障害者施策の推進(177) ※H27年度16位	13位 ワーク・ライフ・バランスの推進(165)	13位 障害者施策の推進(159)
14位	14位 市街地の整備・再開発(181) ※同率13位 ※H26年度17位	14位 市街地の整備・再開発(175)	14位 市街地の整備・再開発(163)	14位 健康づくりの推進(141) ※H29年度17位
15位	15位 緑のまちづくりの推進(169) ※H26年度18位	15位 道路・交通ネットワークの整備(172) ※H27年度19位	15位 地球温暖化対策などの推進(162) ※H28年度16位	15位 緑のまちづくりの推進(137) ※H29年度16位

### (3) 属性別にみた特徴

今年度調査における市民要望の回答結果を対象者の属性別にみていくと、以下のような特徴を指摘することができる。(表2-3) 参照

#### ① 性別

- ◇ 総合1位となった「高齢社会対策の推進」をみると、前年度男女ともに1位であり、今年度もともに1位となった。平均スコア(総合0.784)は、この項目については例年男性が女性を上回っていたが、今年度は女性(0.794)が男性(0.754)を上回った。
- ◇ 総合2位の「子育て支援の推進」は、前年度男女ともに2位であり、今年度もともに2位となった。平均スコア(総合0.493)は、前年度は女性が男性を上回っていたが、今年度は男性(0.498)が女性(0.489)を上回った。
- ◇ 総合3位の「医療・衛生管理体制の充実」は、前年度は男性4位、女性3位であったが、今年度は男性5位、女性4位となった。平均スコア(総合0.304)は、女性(0.322)が男性(0.272)を上回り、この項目に対する市民要望は例年同様、女性の方が高かった。
- ◇ 同じく総合3位の「産業の振興」は、前年度は男性3位、女性5位であったが、今年度の男性は2年連続3位に対し、女性は順位が2つ下がり7位となった。平均スコア(総合0.304)でも、男性(0.371)が女性(0.255)を上回り、男性からの要望がより強いという結果が、例年どおりの傾向として浮き彫りになった。
- ◇ 総合5位の「防犯、暴力追放運動の推進」は、男性(4位)が女性(5位)より1ランク要望が高かった。平均スコア(総合0.301)は、男性(0.333)が女性(0.280)を上回った。
- ◇ 総合6位の「学校教育の充実」は女性(3位)が男性(6位)より要望順位が高く、平均スコア(総合0.299)も、女性(0.331)が男性(0.261)を上回った。総合7位の「身近な生活道路の整備」も、女性(6位)が男性(15位)より要望順位が高く、平均スコア(総合0.220)も、女性(0.277)が男性(0.152)を上回った。総合8位の「防災体制の充実」も、女性(8位)が男性(10位)より要望順位が高く、平均スコア(総合0.213)も、女性(0.238)が男性(0.176)を上回った。
- ◇ 一方、総合9位の「青少年の健全育成の推進」は、男性(7位)が女性(12位)より要望順位が高く、平均スコア(0.198)でも、男性(0.254)が女性(0.155)を上回った。総合10位の「地球温暖化対策」も、男性(9位)が女性(10位)より要望順位が高く、平均スコア(0.174)でも、男性(0.183)が女性(0.170)を上回った。

#### ② 年齢別

- ◇ 総合1位の「高齢社会対策の推進」をみると、前年度は10・20歳代で2位、30歳代で3位、これ以外の全ての年齢層で1位に入っていた。今年度は10・20歳代で3位、30歳代で4位、これ以外の全ての年齢層で1位に入っており、引き続き全年齢層を通じて高い要望順位となっている。平均スコア(総合0.784)は、60歳代(0.989)、70歳以上(0.886)、50歳代(0.848)の順に高く、50歳代以上の各年齢層で0.800水準を上回っている。最も低いのは10・20歳代(0.319)であった。
- ◇ 総合2位となった「子育て支援の推進」は、前年度は10・20歳代、30歳代及び40歳代で1位、60歳代で2位、50歳代で4位、70歳以上で8位であった。今年度は10・

20 歳代及び 30 歳代で 1 位、40 歳代、60 歳代及び 70 歳以上で 2 位、50 歳代で 4 位となり、例年どおり子育て世代である若年層を中心に、各年齢層で要望順位の上位に入っている。平均スコア（総合 0.493）では、最も高い 30 歳代（1.260）が突出しており、10・20 歳代（0.565）も 0.500 水準を上回っている。一方、最も低かったのは 50 歳代（0.339）で、世代間での差が比較的大きく出ている。

- ◇ 総合 3 位の「医療・衛生管理体制の充実」は、前年度は、50 歳代、60 歳代及び 70 歳以上で 3 位、30 歳代及び 40 歳代で 4 位、10・20 歳代で 10 位であった。今年度は、40 歳代で 3 位、60 歳代で 4 位、50 歳代で 5 位、30 歳代で 6 位、70 歳以上で 7 位と続いたが、10・20 歳代は 13 位と、唯一トップ 10 圏外になっている。平均スコア（総合 0.304）では、40 歳代（0.467）が最も高く、次いで 50 歳代（0.333）、60 歳代（0.298）と続き、最も低い 10・20 歳代（0.159）以外の全ての年齢層で 0.200 水準を上回っている。
- ◇ 同じく総合 3 位となった「産業の振興」は、前年度は、50 歳代及び 70 歳以上の 2 位を筆頭に、60 歳代で 4 位、40 歳代で 6 位、30 歳代で 7 位、10・20 歳代で 9 位であった。今年度は、50 歳代、60 歳代及び 70 歳以上の 3 位を筆頭に、30 歳代及び 40 歳代で 7 位と、比較的年齢の高い層からの要望が強くと見られた。なお、10・20 歳代は 22 位と、唯一トップ 10 圏外になっている。平均スコア（総合 0.304）では、50 歳代（0.409）が最も高く、次いで 60 歳代（0.351）、70 歳以上（0.306）と続き、最も低い 10・20 歳代（0.116）のみ 0.200 水準を下回っている。
- ◇ 総合 5 位の「防犯、暴力追放運動の推進」は、10・20 歳代及び 50 歳代の 2 位を筆頭に、30 歳代で 3 位、40 歳代で 5 位、70 歳以上で 7 位、60 歳代で 10 位と、全ての年齢層でトップ 10 入りしている。平均スコア（総合 0.301）では、50 歳代（0.456）が最も高く、次いで 30 歳代（0.396）、10・20 歳代（0.377）と続き、最も低かったのは 60 歳代（0.200）となっている。
- ◇ 総合 6 位の「学校教育の充実」は、30 歳代の 2 位を筆頭に、40 歳代で 4 位に入っているが、10・20 歳代、50 歳代及び 60 歳代で 6 位、70 歳以上で 9 位と、やや傾向が分かれている。平均スコア（総合 0.299）も、最も高い 30 歳代（0.677）が突出しており、次いで 40 歳代（0.373）、50 歳代（0.298）と続き、30 歳代の学校に通う子どもを持つ親世代を中心に強い要望であることが推察される。
- ◇ 総合 7 位の「身近な生活道路の整備」は、40 歳代及び 70 歳以上で 5 位、50 歳代及び 60 歳代で 7 位だが、10・20 歳代及び 30 歳代は 25 位と、傾向が分かれている。平均スコア（総合 0.220）も、40 歳代（0.314）を筆頭に、50 歳代及び 70 歳以上（ともに 0.240）、60 歳代（0.234）と続き、比較的年齢の高い層からの要望が強い傾向がみられた。
- ◇ このほかの特徴としては、総合 8 位の「防災体制の充実」は、60 歳代の 5 位を筆頭に、40 歳代で 8 位、10・20 歳代及び 50 歳代で 9 位、70 歳以上で 10 位と続いている。30 歳代は 11 位とトップ 10 圏外だが、年齢を問わず比較的要望が強い傾向がみられた。
- ◇ 総合 9 位の「青少年の健全育成の推進」は、70 歳以上の 4 位を筆頭に、10・20 歳代で 8 位、50 歳代で 10 位と、これらの年齢層でトップ 10 入りしている。総合 10 位の「地球温暖化対策」は 70 歳以上の 5 位を筆頭に、60 歳代で 8 位と、年齢の高い層でトップ 10 入りしており、要望が強かった。一方、総合 19 位の「ワーク・ライフ・バランスの推進」は、30 歳代の 4 位を筆頭に、10・20 歳代で 6 位と、若年層でトップ 10 入りしており、要望が強かった。

### ③ 居住年数別

ここでは、標本数が少ない3年未満（5サンプル）を除いた居住年数別でみることにする。

- ◇ 総合1位の「高齢社会対策の推進」は、5年未満、20年未満、30年未満及び30年以上の1位を筆頭に、10年未満で3位、1年未満で4位、2年未満で12位となっており、居住歴が長い層を中心に要望順位が高かった。平均スコア（総合0.784）でも、30年以上（0.893）が最も高く、次いで30年未満（0.602）、20年未満（0.582）、5年未満（0.542）と続き、これらの居住年数層で0.500水準を上回った。
- ◇ 総合2位の「子育て支援の推進」は、1年未満及び2年未満の1位を筆頭に、20年未満、30年未満及び30年以上で2位、5年未満及び10年未満で4位と、居住歴を問わず要望順位が高かった。平均スコア（総合0.493）でも、2年未満（1.158）、1年未満（1.000）と続き、この2つの居住年数層で1.000水準以上となっており、居住歴が短い層からの要望が強い傾向にあった。
- ◇ 総合3位の「医療・衛生管理体制の充実」は、30年未満の3位を筆頭に、20年未満及び30年以上で4位、5年未満で6位、1年未満で7位と、これらの層でトップ10入りしたが、2年未満及び10年未満では15位と、比較的居住歴が長い層を中心に要望順位が高かった。平均スコア（総合0.304）では、30年未満（0.366）が最も高く、次いで20年未満（0.345）、5年未満（0.292）と続いた。
- ◇ 同じく総合3位の「産業の振興」は、30年以上の3位を筆頭に、10年未満及び30年未満で7位、20年未満で8位であったが、1年未満及び2年未満は10位、5年未満は17位と、この項目も居住歴が長い層を中心に要望順位が高かった。平均スコア（総合0.304）では、30年以上（0.339）が最も高く、次いで10年未満（0.265）、20年未満（0.245）、30年未満（0.244）と続いた。
- ◇ 総合5位の「防犯・暴力追放運動の推進」は、10年未満の1位を筆頭に、20年未満及び30年未満で3位、1年未満及び2年未満で4位、30年以上で6位と、5年未満の12位を除き、居住歴を問わず比較的上位にランクインしている。平均スコア（総合0.301）は、10年未満（0.706）が最も高く、唯一0.700水準を上回った。次いで1年未満（0.438）、20年未満（0.382）、2年未満（0.368）と続いた。
- ◇ 総合6位の「学校教育の充実」をみると、5年未満及び10年未満の2位を筆頭に、20年未満、30年未満及び30年以上で5位と、これらの層では5位以内にランクインしているが、1年未満は12位、2年未満は20位と、居住歴の短い層では要望順位が低かった。平均スコア（総合0.299）は、10年未満（0.588）が最も高く、次いで5年未満（0.500）と続き、これらの居住年数層で0.500水準以上となった。
- ◇ 総合7位の「身近な生活道路の整備」は、30年未満及び30年以上の7位を筆頭に、5年未満で8位、10年未満で9位と、これらの層ではトップ10入りしているが、20年未満で13位、1年未満で18位、2年未満で20位と順位にバラツキがみられた。
- ◇ 総合8位の「防災体制の充実」は、1年未満の2位を筆頭に、5年未満及び30年以上で8位、30年未満で9位となっており、これらの層でトップ10にランクインしている。
- ◇ 総合9位の「青少年の健全育成の推進」は、20年未満及び30年未満の6位を筆頭に、1年未満で7位、10年未満で9位、30年以上で10位と、比較的居住歴の長い層を中心にトップ10入りしている。

- ◇ 総合 10 位の「地球温暖化対策」は、5 年未満の 3 位を筆頭に、30 年以上で 9 位と、これらの居住年数層でトップ 10 にランクインしているが、これ以外の層では 18 位以下になっており、順位にバラツキがみられた。

#### ④ 職業別

ここでは、標本数が少ない自由業（5 サンプル）及び農・林・漁業（4 サンプル）を除いた職業別でみることにする。

- ◇ 総合 1 位の「高齢社会対策の推進」は、前年度は、自由業、会社員及び学生で 2 位、これ以外の全ての職業層で 1 位と、全ての職業層で 2 位以内にランクインした。今年度は、公務員・教員で 2 位、これ以外の全ての職業層で 1 位と、全ての職業層で 2 位以内にランクインし、今年度も全職業層から要望が強いことがうかがえる結果となっている。平均スコア（総合 0.784）は、無職（0.912）を筆頭に、主婦・主夫（パートなど）（0.907）、会社員（0.798）と続き、最も低いその他で 0.509 と、全ての職業層で 0.500 水準を上回った。
- ◇ 総合 2 位の「子育て支援の推進」は、前年度は、会社員で 1 位、主婦・主夫（パートなど）及び主婦・主夫（専業）で 2 位、公務員・教員及びその他で 3 位、自営業で 4 位、無職で 5 位、自由業で 6 位、学生で 7 位となり、全ての職業層で 7 位以内にランクインした。今年度は、会社員、主婦・主夫（パートなど）、主婦・主夫（専業）、学生、無職及びその他で 2 位、自営業で 6 位、公務員・教員で 8 位となり、全ての職業層で 8 位以内にランクインした。平均スコア（総合 0.493）では、会社員（0.642）を筆頭に、主婦・主夫（パートなど）（0.523）、その他（0.472）と続き、最も低かったのは公務員・教員の 0.243 であった。
- ◇ 総合 3 位の「医療・衛生管理体制の充実」は、前年度は、自由業で 1 位、無職及びその他で 2 位、自営業及び主婦・主夫（パートなど）で 3 位、会社員及び主婦・主夫（専業）で 4 位、公務員・教員で 10 位と、学生（ランク外）を除く全ての職業層でトップ 10 入りした。今年度は、主婦・主夫（パートなど）で 3 位、会社員、無職及びその他で 4 位、公務員・教員で 5 位、自営業で 6 位、主婦・主夫（専業）で 9 位、学生で 17 位と、学生を除く全ての職業層でトップ 10 入りした。平均スコア（総合 0.304）は、主婦・主夫（パートなど）（0.372）が最も高く、次いで会社員（0.354）、公務員・教員（0.351）と続いた。
- ◇ 同じく総合 3 位の「産業の振興」は、前年度は、自営業での 2 位を筆頭に、自由業、会社員及び無職で 3 位、主婦・主夫（専業）で 5 位、主婦・主夫（パートなど）で 6 位、公務員・教員及び学生で 7 位、その他で 10 位と、全ての職業層で 10 位以内にランクインした。今年度は、自営業の 2 位を筆頭に、会社員及び無職で 3 位、公務員・教員で 4 位、その他で 5 位、主婦・主夫（パートなど）で 6 位、主婦・主夫（専業）で 7 位、学生で 10 位と、全ての職業層で 10 位以内にランクインした。平均スコア（総合 0.304）は、公務員・教員（0.405）が最も高く、次いで自営業（0.400）、会社員（0.358）と続き、最も低かったのは、主婦・主夫（専業）の 0.228 であった。
- ◇ 総合 5 位の「防犯、暴力追放運動の推進」は、公務員・教員の 3 位を筆頭に、自営業及び学生で 4 位、主婦・主夫（パートなど）及び主婦・主夫（専業）で 5 位、会社員、無職及びその他で 6 位と、全ての職業層で 6 位以内にランクインした。平均スコア（総合 0.301）は、公務員・教員（0.514）が最も高く、次いで学生（0.393）、主婦・主夫

(パートなど) (0.331) と続き、最も低かったのは、無職 (0.252) であった。

- ◇ 総合6位の「学校教育の充実」は、公務員・教員での1位が最も高く、次いで、学生での2位、主婦・主夫(パートなど)での4位、会社員及び無職での5位、主婦・主夫(専業)での6位、その他での7位、自営業での10位と続き、全ての職業層でトップ10入りした。例年、公務員・教員からの要望で最も上位となる傾向にあり、今年度も公務員・教員で1位となっている。
- ◇ 総合7位の「身近な生活道路の整備」は、主婦・主夫(専業)での3位が最も高く、会社員で7位、自営業及び主婦・主夫(パートなど)で8位、無職で9位と続き、これらの職業層でトップ10入りした。
- ◇ 総合8位の「防災体制の充実」では、自営業での3位が最も高く、主婦・主夫(専業)で4位、公務員・教員で8位、会社員で9位、主婦・主夫(パートなど)で10位と続き、これらの職業層でトップ10入りした。
- ◇ 総合9位の「青少年の健全育成の推進」では、学生での4位が最も高かった。主婦・主夫(パートなど)(11位)、主婦・主夫(専業)(15位)、自営業(21位)を除く全ての層で10位以内にランクインしている。
- ◇ 総合10位の「地球温暖化対策」では、自営業での4位が最も高く、次いで無職及びその他で8位に入っており、これらの職業層で比較的要望順位が高かった。

(表2-3) 属性別にみた市政要望トップ12 【1/2】

市政要望

(数値は平均スコア)

区分	回答者数	北九州市が行なっている施策や事業などで、以前に比べて「かなりよくなっている」もの、及び「今後、もっと力を入れてほしい」ものを次の中からそれぞれ1位から3位まで選んでください。												
		今後、もっと力を入れてほしい												
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
		位	位	位	位	位	位	位	位	位	位	位	位	
全体	1,053	高齢社会	子育て	医療衛生	産業振興	暴力追放	学校教育	生活道路	防災体制	健全育成	温暖化	駐車対策	道路路網	
性別	男性	448	高齢社会	子育て	産業振興	暴力追放	医療衛生	学校教育	健全育成	道路路網	温暖化	防災体制	障害者	国際交流
	女性	593	高齢社会	子育て	学校教育	医療衛生	暴力追放	生活道路	産業振興	防災体制	駐車対策	温暖化	役所	健全育成
	無回答	12	高齢社会	医療衛生	子育て	防災体制	交通物流	健全育成	駐車対策	産業振興	学校教育	暴力追放	住宅対策	地域
	10・20歳代	69	子育て	暴力追放	高齢社会	国際交流	環境保全	学校教育	WLB	健全育成	防災体制	公園整備	市街地	道路路網
30歳代	96	子育て	学校教育	暴力追放	高齢社会	WLB	医療衛生	産業振興	市街地整備	公園路網	道路整備	防災体制	健康推進	
40歳代	169	高齢社会	子育て	医療衛生	学校教育	暴力追放	生活道路	産業振興	防災体制	道路路網	市役所	駐車対策	公園整備	
50歳代	171	高齢社会	暴力追放	産業振興	子育て	医療衛生	学校教育	障害者	生活道路	防災体制	健全育成	駐車対策	健康推進	
60歳代	265	高齢社会	子育て	産業振興	医療衛生	防災体制	学校教育	生活道路	温暖化	駐車対策	暴力追放	障害者	道路路網	
70歳以上	271	高齢社会	子育て	産業振興	健全育成	温暖化	生活道路	医療衛生	暴力追放	学校教育	防災体制	ごみ処理	障害者	
無回答	12	高齢社会	医療衛生	防災体制	都市景観	交通物流	子育て	健全育成	駐車対策	産業振興	暴力追放	住宅対策	地域	
1年未満	16	子育て	防災体制	国際交流	暴力追放	高齢社会	環境保全	健全育成	医療衛生	住宅対策	芸術文化	産業振興	学校教育	
2年未満	19	子育て	都市景観	交通物流	暴力追放	環境保全	WLB	健康推進	住宅対策	市街地	産業振興	道路路網	高齢社会	
3年未満	5	医療衛生	暴力追放	子育て	健康推進	都市景観	道路路網	公園整備	生活道路	温暖化				
5年未満	24	高齢社会	学校教育	温暖化	子育て	生涯学習	医療衛生	ごみ処理	防災体制	住宅対策	生活道路	地域	健全育成	
10年未満	34	暴力追放	学校教育	高齢社会	子育て	環境保全	駐車対策	産業振興	道路路網	健全育成	障害者	健康推進	生活道路	
20年未満	110	高齢社会	子育て	暴力追放	医療衛生	学校教育	健全育成	障害者	産業振興	国際交流	道路路網	健康推進	環境保全	
30年未満	123	高齢社会	子育て	医療衛生	暴力追放	学校教育	健全育成	生活道路	産業振興	防災体制	道路路網	WLB	公園整備	
30年以上	711	高齢社会	子育て	産業振興	医療衛生	学校教育	暴力追放	生活道路	防災体制	温暖化	健全育成	駐車対策	障害者	
無回答	11	高齢社会	医療衛生	防災体制	交通物流	子育て	健全育成	駐車対策	産業振興	暴力追放	住宅対策	地域	道路路網	

※平均スコアは小数点第4位以下を四捨五入

(表 2-3) 属性別にみた市政要望トップ 12 【2/2】

市政要望

(数値は平均スコア)

区分	回答者数	北九州市が行なっている施策や事業などで、以前に比べて「かなりよくなっている」もの、及び「今後、もっと力を入れてほしい」ものを次の中からそれぞれ1位から3位まで選んでください。											
		今後、もっと力を入れてほしい											
		1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位	7 位	8 位	9 位	10 位	11 位	12 位
全体	1,053	高齢社会	子育て	医療衛生	産業振興	暴力追放	学校教育	生活道路	防災体制	健全育成	温暖化	駐車対策	道路網
自営業	65	高齢社会	産業振興	防災体制	暴力追放	温暖化	子育て	医療衛生	駐車対策	生活道路	学校教育	公園整備	障害者
自由業	5	子育て	産業振興	健全育成	環境保全	人権尊重	住宅対策	国際交流	学校教育	暴力追放	LB	観光振興	
会社員	257	高齢社会	子育て	産業振興	医療衛生	学校教育	暴力追放	生活道路	道路網	防災体制	健全育成	LB	市街地
公務員・教員	37	学校教育	高齢社会	暴力追放	産業振興	医療衛生	LB	障害者	子育て	健全育成	防災体制	道路網	駐車対策
農・林・漁業	4	高齢社会	暴力追放	W	温暖化	健全育成	駐車対策	国際交流					
主婦・主夫 (パートなど)	172	高齢社会	子育て	医療衛生	学校教育	暴力追放	産業振興	駐車対策	生活道路	市役所	防災体制	健全育成	健康推進
主婦・主夫 (専業)	180	高齢社会	子育て	生活道路	防災体制	暴力追放	学校教育	産業振興	駐車対策	医療衛生	公園整備	道路網	障害者
学生	28	高齢社会	子育て	学校教育	健全育成	暴力追放	環境保全	学術振興	障害者	W	LB	地域振興	産業防災体制
無職	238	高齢社会	子育て	産業振興	医療衛生	学校教育	暴力追放	健全育成	温暖化	生活道路	健康推進	障害者	地域
その他	53	高齢社会	子育て	障害者	医療衛生	産業振興	暴力追放	学校教育	健全育成	温暖化	国際交流	都市景観	道路網
無回答	14	高齢社会	医療衛生	防災体制	住宅対策	交通物流	道路網	子育て	健全育成	生涯学習	駐車対策	産業振興	温暖化

※平均スコアは小数点以下第4位を四捨五入

## (4) 地区別にみた特徴(表 2-4) 参照

## ① 行政区別にみた特徴

- ◇ 総合1位となった「高齢社会対策の推進」は、前年度は7区全てで1位であった。今年度も7区全てで1位となり、依然として区を問わず最も市民要望が強い項目となっている。平均スコア(総合 0.784)は、八幡東区(0.857)が最も高く、次いで小倉南区(0.833)、門司区(0.827)と続いた。最も低かったのは小倉北区(0.716)であるが、全ての区で0.700水準以上となり、全体的に高いスコアとなった。
- ◇ 総合2位の「子育て支援の推進」は、前年度は八幡東区で3位、そのほかの6区では全て2位であった。今年度も八幡東区で3位、そのほかの6区では全て2位となり、この項目も全ての区で市民要望の上位に入っている。平均スコア(総合 0.493)は、戸畑区(0.769)がともに最も高く、次いで小倉北区(0.607)、八幡西区(0.491)と続き、最も低かったのは門司区(0.400)であるが、全ての区で0.400水準以上となった。
- ◇ 総合3位の「医療・衛生管理体制の充実」は、前年度は八幡東区の2位を筆頭に、門司区、若松区及び戸畑区で3位、八幡西区で4位、小倉北区で5位、小倉南区で6位となり、全ての区で2位から6位の間にランクインした。今年度も八幡東区の2位が最も



高く、門司区及び小倉南区で3位、小倉北区及び八幡西区で6位、若松区で7位、戸畑区で9位となり、全ての区で2位から9位にランクインした。平均スコア（総合0.304）は、八幡東区（0.440）が最も高く、次いで小倉南区（0.392）、門司区（0.327）と続き、最も低い戸畑区（0.169）を除く6つの区で0.200水準を上回った。

- ◇ 同じく総合3位の「産業の振興」は、前年度は、小倉北区、小倉南区及び八幡西区での3位を筆頭に、八幡東区及び戸畑区で4位、門司区で5位、若松区で9位と、全ての区で9位以内にランクインした。今年度は、若松区での3位を筆頭に、門司区、小倉南区、八幡西区及び戸畑区で4位、小倉北区で5位、八幡東区で6位と、全ての区で6位以内にランクインした。平均スコア（総合0.304）は、戸畑区（0.400）が最も高く、小倉南区（0.338）、門司区（0.309）と続き、最も低かった八幡東区で0.262と、全ての区で0.200水準を上回った。
- ◇ 総合5位の「防犯、暴力追放運動の推進」は、八幡西区の3位を筆頭に、小倉北区での4位、門司区、小倉南区及び戸畑区で5位、八幡東区で6位、若松区で9位と、全ての区で9位以内にランクインした。平均スコア（総合0.301）では、小倉北区（0.372）が最も高く、次いで戸畑区（0.308）、八幡西区（0.302）と続き、最も低かった若松区で0.204と、全ての区で0.200水準を上回った。
- ◇ 総合6位の「学校教育の充実」は、小倉北区及び戸畑区での3位、八幡西区で5位、小倉南区で6位、八幡東区で8位、門司区で9位、若松区で12位と、若松区を除く6つの区で9位以内にランクインした。平均スコア（総合0.299）は、戸畑区（0.615）が最も高く、小倉北区（0.410）、八幡西区（0.289）と続き、最も低い若松区（0.153）を除く6つの区で0.200水準を上回った。
- ◇ 総合7位の「身近な生活道路の整備」は、若松区での4位を筆頭に、小倉南区で6位、八幡西区で7位、門司区で8位、小倉北区及び八幡東区で12位、戸畑区で29位と、区によってバラツキがみられた。平均スコア（総合0.220）は、八幡西区（0.271）が最も高く、小倉南区（0.257）、若松区（0.255）、門司区（0.227）と続き、これらの区で0.200水準を上回った。
- ◇ 総合8位の「防災体制の充実」は、八幡東区の4位を筆頭に、門司区で5位、小倉北区及び若松区で7位、八幡西区で9位、小倉南区で10位、戸畑区で14位と、戸畑区を除く6つの区でトップ10入りした。
- ◇ 総合9位の「青少年の健全育成の推進」は、八幡西区での8位を筆頭に、小倉北区及び小倉南区で9位、門司区及び八幡東区で10位、若松区で12位、戸畑区で16位と、区によってバラツキがみられた。
- ◇ 総合10位の「地球温暖化対策」は、小倉北区での7位を筆頭に、小倉南区で8位、門司区で11位、若松区及び八幡西区で12位、八幡東区で16位、戸畑区で29位と、区によってバラツキがみられた。

## ② 18 地区別にみた特徴

一般的に言うならば、施策や事業に対する市民の要望は、年齢や職業といった個人属性の違いによる相違のほか、ごく身近な生活圏の地理・環境など、日常生活に根ざした地域の事情が反映される。よって以下では、より身近で実情に即した市民の要望を確認するため、18地区に細分化した地区別の特徴をみていく。

- ◇ 総合1位の「高齢社会対策の推進」は、前年度は18地区全てで1位であった。今年

度は小倉地区で2位、これ以外の17地区全てで1位となって、引き続き地区を問わず市民要望が強い項目となっている。平均スコア（総合0.784）では、門司（東部）地区（1.167）が最も高く、次いで徳力地区（1.061）、門司港地区（1.000）と続き、これら3地区で1.000水準以上となった。一方、最も低かったのは小倉地区（0.477）で、唯一0.500水準を下回った。

- ◇ 総合2位の「子育て支援の推進」は、前年度は若松及び八幡東（西部）の2地区で3位、門司港及び小倉の2地区で4位、これら以外の14地区で2位であった。今年度は小倉及び若松の2地区で1位、門司（大里）、八幡東（西部）及び折尾の3地区で3位、城野及び二島の2地区で5位と続き、ランク外の門司（東部）地区を除く11地区で2位と、順位のバラツキの幅は前年度より広がった。平均スコア（総合0.493）では、戸畑地区（0.769）が最も高く、次いで小倉地区（0.705）で、これらの2地区では0.700水準を上回った。ランク外の門司（東部）地区を除き、最も低いのは二島地区（0.273）、次いで城野地区（0.280）となっており、これらの2地区では0.300水準を下回った。
- ◇ 総合3位の「医療・衛生管理体制の充実」は、前年度は門司港、小倉、若松及び八幡東（西部）の4地区で2位を筆頭に、2位から11位の間にランクインしていた。今年度は、曾根及び八幡東（西部）の2地区で2位を筆頭に、3位が4地区、4位が3地区、5位が2地区、8位が1地区、9位が2地区、10位が1地区、11位が1地区、12位が1地区、15位が1地区と、順位のバラツキの幅は前年度より広がった。平均スコア（総合0.304）は、八幡東（西部）地区（0.629）が最も高く、次いで黒崎地区（0.507）、門司（東部）地区（0.500）と続き、これらの3地区では0.500水準以上となった。一方、最も低いのは小倉（東部）地区（0.140）であった。
- ◇ 同じく総合3位の「産業の振興」は、前年度は小倉、小倉（東部）、曾根、八幡東（東部）、上津役及び香月の6地区での3位を筆頭に、3位から23位の間にランクインしていた。今年度は、二島地区の2位を筆頭に、3位が2地区、4位が5地区、5位が2地区、6位が2地区、7位が2地区、8位が1地区、9位が2地区、12位が1地区となり、順位のバラツキの幅は前年度より狭くなった。平均スコア（総合0.304）は、上津役地区（0.444）が最も高く、次いで城野及び戸畑の2地区（ともに0.400）と続いた。最も低いのは若松地区（0.163）であった。
- ◇ 総合5位の「防犯、暴力追放運動の推進」は、門司（東部）及び折尾の2地区での2位を筆頭に、3位が1地区、4位が4地区、5位が3地区、6位が2地区、7位が1地区、8位が1地区、10位1地区、12位が2地区、15位が1地区、18位が1地区と、順位にかなりのバラツキがみられた。平均スコア（総合0.301）は、門司（東部）地区（0.611）が最も高く、次いで小倉（東部）地区（0.474）、八幡東（西部）地区（0.457）と続いた。
- ◇ 総合6位の「学校教育の充実」は、小倉、小倉（西部）、八幡東（東部）及び戸畑の4地区の3位を筆頭に、城野、若松、二島、八幡東（西部）及び折尾の5地区を除く13地区で8位以内にランクインしている。
- ◇ 総合7位の「身近な生活道路の整備」では、門司港及び黒崎の2地区の4位を筆頭に、10地区でトップ10入りしている。
- ◇ このほかの特徴としては、総合8位の「防災体制の充実」は、門司（大里）地区での2位を筆頭に、9地区でトップ10入りし、総合9位の「青少年の健全育成の推進」は、香月地区での3位を筆頭に、9地区でトップ10入りしている。総合10位の「地球温暖

化対策」は、小倉（東部）地区での4位を筆頭に、5地区でトップ10入りしている。

以上、ここで指摘した18地区別の市政要望の詳細については、**(表2-4)**「地区別に見た市政要望ベスト12」、あるいは巻末資料編をご参照いただきたい。

(表2-4) 地区別にみた市政要望トップ12 【1/2】

市政要望

(数値は平均スコア)

区分	回答者数	北九州市が行なっている施策や事業などで、以前に比べて「かなりよくなっている」もの、及び「今後、もっと力を入れてほしい」ものを次の中からそれぞれ1位から3位まで選んでください。												
		今後、もっと力を入れてほしい												
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
		位	位	位	位	位	位	位	位	位	位	位	位	
全体	1,053	高齢社会	子育て	医療衛生	産業振興	暴力追放	学校教育	生活道路	防災体制	健全育成	温暖化	駐車対策	道路路網	
地区別	門司区	110	高齢社会	子育て	医療衛生	産業振興	暴力追放	防災体制	駐車対策	生活道路	学校教育	健全育成	住宅対策	市役所
	小倉北区	183	高齢社会	子育て	学校教育	暴力追放	産業振興	医療衛生	防災体制	温暖化	健全育成	環境保全	障害者生活道路	
	小倉南区	222	高齢社会	子育て	医療衛生	産業振興	暴力追放	学校教育	生活道路	温暖化	健全育成	防災体制	道路路網	WLB
	若松区	98	高齢社会	子育て	産業振興	生活道路	公園整備	医療衛生	防災体制	暴力追放	障害者	駐車対策	学校教育	
	八幡東区	84	高齢社会	医療衛生	子育て	防災体制	駐車対策	暴力追放	産業振興	学校教育	健康推進	健全育成	障害者	WLB
	八幡西区	291	高齢社会	子育て	暴力追放	産業振興	学校教育	医療衛生	生活道路	健全育成	防災体制	障害者	駐車対策	道路路網
	戸畑区	65	高齢社会	子育て	学校教育	産業振興	暴力追放	公園整備	住宅対策	環境保全	医療衛生	障害者	駐車対策	健康推進
	門司港	27	高齢社会	子育て	駐車対策	生活道路	生涯学習	地域	産業振興	学校教育	障害者	医療衛生	住宅対策	暴力追放
	門司(大里)	65	高齢社会	防災体制	子育て	医療衛生	産業振興	暴力追放	駐車対策	温暖化	健全育成	国際交流	住宅対策	生活道路
	門司(東部)	18	高齢社会	暴力追放	医療衛生	学校教育	消費者	産業振興	健康推進	WLB	駐車対策	生活道路	市役所	道路路網
門司区計	110	高齢社会	子育て	医療衛生	産業振興	暴力追放	防災体制	駐車対策	生活道路	学校教育	健全育成	住宅対策	市役所	
小倉北区	小倉	44	子育て	高齢社会	学校教育	障害者	医療衛生	暴力追放	駐車対策	産業振興	環境保全	健康推進	住宅対策	生涯学習
	小倉(東部)	57	高齢社会	子育て	暴力追放	温暖化	学校教育	産業振興	市役所	ごみ処理	交通物流	防災体制	健全育成	生活道路
	小倉(西部)	82	高齢社会	子育て	学校教育	暴力追放	医療衛生	防災体制	健全育成	産業振興	生涯学習	市街地	道路路網	消費者
	小倉北区計	183	高齢社会	子育て	学校教育	暴力追放	産業振興	医療衛生	防災体制	温暖化	健全育成	環境保全	障害者	生活道路
	城野	50	高齢社会	WLB	産業振興	暴力追放	子育て	健全育成	生活道路	健康推進	医療衛生	防災体制	生涯学習	学校教育
小倉南区	曾根	106	高齢社会	子育て	医療衛生	産業振興	学校教育	生活道路	温暖化	暴力追放	市役所	健全育成	道路路網	国際交流
	徳力	66	高齢社会	子育て	医療衛生	産業振興	暴力追放	学校教育	防災体制	健全育成	WLB	公園整備	温暖化	障害者
	小倉南区計	222	高齢社会	子育て	医療衛生	産業振興	暴力追放	学校教育	生活道路	温暖化	健全育成	防災体制	道路路網	WLB

※平均スコアは小数点第4位以下を四捨五入

(表2-4) 地区別にみた市政要望トップ12 【2/2】

市政要望

(数値は平均スコア)

区分	回答者数	北九州市が行なっている施策や事業などで、以前に比べて「かなりよくなっている」もの、及び「今後、もっと力を入れてほしい」ものを次の中からそれぞれ1位から3位まで選んでください。											
		今後、もっと力を入れてほしい											
		1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	11位	12位
全体	1,053	高齢社会	子育て	医療衛生	産業振興	暴力追放	学校教育	生活道路	防災体制	健全育成	温暖化	駐車対策	道路網
若松区	若松	43	子育て	高齢社会	医療衛生	公園整備	地域障害	生活道路	温暖化	都市景観	道路網	健全育成	学校教育
	二島	55	高齢社会	産業振興	防災体制	道路網	子育て	生活道路	暴力追放	市役所	公園整備	駐車対策	医療衛生
	若松区計	98	高齢社会	子育て	産業振興	生活道路	道路網	公園整備	医療衛生	防災体制	暴力追放	障害者	駐車対策
八幡東区	八幡東(東部)	49	高齢社会	子育て	学校教育	医療衛生	防災体制	健康推進	駐車対策	道路網	産業振興	市街地	芸術文化
	八幡東(西部)	35	高齢社会	医療衛生	子育て	暴力追放	防災体制	健全育成	WLB	産業障害	駐車対策	健康推進	生活道路
	八幡東区計	84	高齢社会	医療衛生	子育て	防災体制	駐車対策	暴力追放	学校振興	健康教育	健全推進	健全育成	障害者
八幡西区	黒崎	69	高齢社会	子育て	医療衛生	生活道路	学校教育	暴力追放	障害者	WLB	生涯学習	産業振興	防災体制
	折尾	91	高齢社会	暴力追放	子育て	環境保全	生活道路	産業振興	健康推進	医療衛生	駐車対策	市街地	道路網
	上津役	81	高齢社会	子育て	産業振興	学校教育	健全育成	生活道路	駐車対策	障害者	ごみ処理	暴力追放	医療衛生
戸畑区	香月	50	高齢社会	子育て	健全育成	医療衛生	暴力追放	防災体制	学校教育	産業振興	生活道路	市街地	公園整備
	八幡西区計	291	高齢社会	子育て	暴力追放	産業振興	学校教育	医療衛生	生活道路	健全育成	防災体制	障害者	駐車対策
	戸畑	65	高齢社会	子育て	学校教育	産業振興	暴力追放	公園整備	住宅対策	環境保全	医療衛生	障害者	駐車対策
戸畑区計	65	高齢社会	子育て	学校教育	産業振興	暴力追放	公園整備	住宅対策	環境保全	医療衛生	障害者	駐車対策	

※平均スコアは小数点第4位以下を四捨五入

### 3 市政評価と市政要望の類型化

一般的に、ある行政施策が進展し市民の評価が高まれば、その施策に対する要望は必然的に後退するものと思われる。また、事件・事故などの発生によって課題として認識され、関心が高まった項目は、その終息に伴い急速に市民の要望が低下する場合もあるであろうし、その要望が持続的かつ高水準のまま維持される場合も起こり得る。

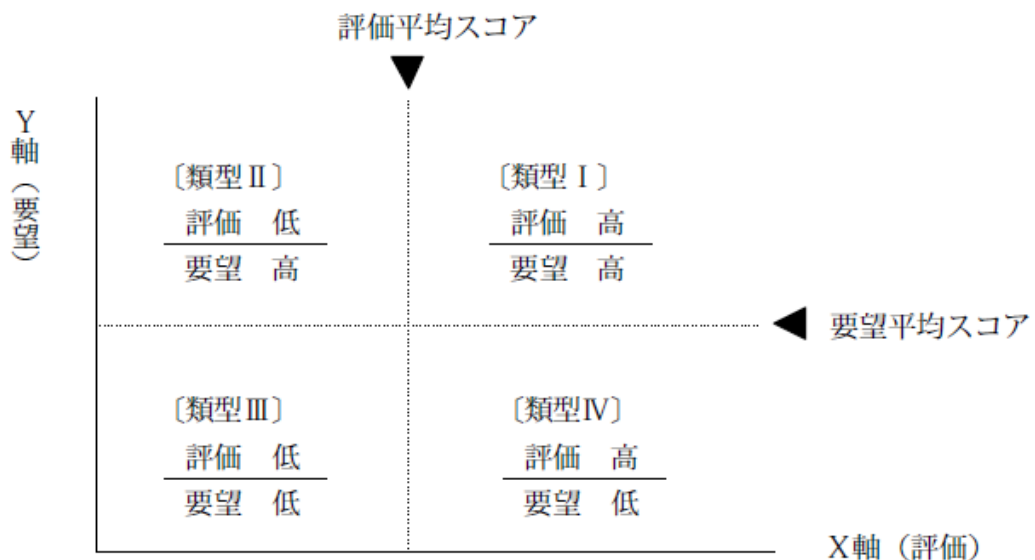
このような観点から、市政評価と市政要望の間には、何らかの相関関係があるとの前提に立ち、本報告書では、例年どおりの継続的な方法によって、34項目の施策・事業について相互の関係を簡潔にまとめてみる。

まず、今年度の調査結果について、X軸に市政評価、Y軸に市政要望の平均スコアを置いた平面上に34項目の施策・事業を分類し、各施策・事業に対する評価と要望の対応関係をみることにする。

(図3-1)に示すように、評価と要望の対応関係は、X軸上の評価平均スコアとY軸上の要望平均スコアによって〔類型Ⅰ〕～〔類型Ⅳ〕の4象限に区別される。それぞれの類型は、評価スコアと要望スコアの高低によって分類されており、次のように性格づけすることができる。

- 〔類型Ⅰ〕 これまでの行政努力を評価しながらも、なお、より高水準のサービスや改善が求められる追及・累進型の施策
- 〔類型Ⅱ〕 これまでの行政努力に対する評価が低く、今後の行政努力が強く期待される緊要型の施策
- 〔類型Ⅲ〕 行政努力に対する評価も低いが、今後の要望・期待も弱い無関心・現状是認型の施策
- 〔類型Ⅳ〕 これまでの行政努力が高く評価され、そのために今後の要望が弱い安定・現状満足型の施策

(図3-1) 市政評価・市政要望の類型



この類型で、今年度の調査結果を判別してみる。ここでは便宜上、市政評価と市政要望の順位を用いることとして、〔類型Ⅰ〕、〔類型Ⅱ〕、〔類型Ⅳ〕では、評価と要望のいずれかが上位 10 位以内にランクされた施策・事業をとりあげており、〔類型Ⅲ〕では、評価と要望いずれも下位 10 位以内の施策・事業としている。(表 3-1) 参照

まず、〔類型Ⅰ〕(評価・要望ともに上位 10 位以内) の追及・累進型に属する項目としては、「防犯、暴力追放運動の推進」(評価 1 位、要望 5 位)、「子育て支援の推進」(評価 3 位、要望 2 位)、「医療・衛生管理体制の充実(救急医療、感染症対策など)」(評価 5 位、要望 3 位)、「高齢社会対策の推進」(評価 8 位、要望 1 位)、「身近な生活道路の整備」(評価 9 位、要望 7 位) の 5 つが該当する結果となった。

「防犯、暴力追放運動の推進」については、評価は前年度に引き続き 1 位と本施策・事業への取り組みに対する評価は得られており、要望は前年度と同じく 5 位となり、依然として強い要望があるとみられ、引き続いての取り組みが市民から求められていると言える。

「子育て支援の推進」については、評価は前年度 4 位から 3 位へと 1 ランク上がったが、要望は前年度と同じく 2 位となった。同様に、「医療・衛生管理体制の充実」については、評価は前年度 6 位から 5 位へと 1 ランク上がったが、要望は前年度に引き続き 3 位となっており、引き続き積極的な施策の推進が求められている。

「高齢社会対策の推進」については、評価は前年度と同じく 8 位で、要望は前年度に引き続き 1 位となった。また、「身近な生活道路の整備」については、評価は前年度と同じ 9 位、要望は前年度同じ 7 位となっており、これらは評価に従った更なる施策の推進が求められる。

〔類型Ⅱ〕(評価が下位 10 位以内、要望が上位 10 位以内) の緊要型に入る項目は、まず「防災体制の充実」(評価 26 位、要望 8 位) である。評価は前年度の 24 位からランクを 2 つ下げ、要望は前年度の 11 位から 3 ランク上がっており、喫緊の課題となっているとみられる。「青少年の健全育成の推進」(評価 27 位、要望 9 位) は、評価は前年度の 32 位から 5 ランク上がり、要望は前年度の 8 位から 1 ランク下がっているが、9 年連続で本類型に含まれていることから、継続して積極的な取り組みを市民が要望しているとの結果を示している。

〔類型Ⅲ〕(評価・要望ともに下位 10 位以内) の現状是認型とされる施策は、市政評価と要望ランクがともに低位(25~34 位)の項目であり、従来どおりの行政サービスを維持・提供することを市民が認めるものである。今回調査では、「自然環境の保全と自然とのふれあいの推進」(評価 30 位・要望 26 位)、「ボランティア・NPO 活動の支援」(評価 31 位・要望 34 位)、「人権の尊重と男女共同参画(あらゆる分野への女性の参画)の推進」(評価 33 位・要望 32 位)、「消費者被害防止対策」(評価 34 位・要望 27 位) の 4 項目が該当している。なお、付言するまでもないが、現状是認型とされる本類型は項目の比較の中でみた相対評価であり、現状に満足することなく一層の努力を続けていくことが肝要となる。

〔類型Ⅳ〕(評価が上位 10 位以内、要望が下位 10 位以内) の安定・現状満足型の施策では、「観光・コンベンション(大規模な会議など)の振興」(評価 10 位、要望 32 位) が挙げられる。この項目は、評価は前年度 11 位から 1 つランクを上げ、要望は前年度 31 位か

ら1つランクが下がっている。近年におけるこれに関連する諸施策が市民から評価・支持を得ていることが推察される。

(表3-1) 市政評価と市政要望

《項目別で見た順位比較》

調査項目		評 価		要 望		
子育て、教育、 人材育成	1	子育て支援の推進	(3)	.494	(2)	.493
	2	学校教育の充実	(13)	.142	(6)	.299
	3	青少年の健全育成の推進	(27)	.045	(9)	.198
	4	学術の振興（学術研究都市の推進、市立大学の充実など）	(14)	.133	(30)	.051
	5	生涯学習の推進	(20)	.088	(23)	.090
健康、 安心・安全	6	医療・衛生管理体制の充実（救急医療、感染症対策など）	(5)	.364	(3)	.304
	7	防犯、暴力追放運動の推進	(1)	.667	(5)	.301
	8	防災体制の充実	(26)	.053	(8)	.213
	9	消費者被害防止対策	(34)	.019	(27)	.072
	10	高齢社会対策の推進	(8)	.175	(1)	.784
	11	障害者施策の推進	(24)	.058	(13)	.151
	12	健康づくりの推進（検診、予防、食育など）	(6)	.341	(14)	.134
	13	人権の尊重と男女共同参画（あらゆる分野への女性の参画）の推進	(33)	.025	(32)	.047
	14	ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進	(32)	.028	(19)	.115
快適な暮らし、 文化・スポーツ	15	公園の整備など、緑のまちづくりの推進	(4)	.405	(15)	.130
	16	都市景観の整備（まち並みづくりと歴史的建造物の活用など）	(11)	.155	(28)	.071
	17	住宅供給の促進・快適な住環境の整備	(23)	.060	(21)	.107
	18	駐車対策	(29)	.039	(11)	.165
	19	身近な生活道路の整備	(9)	.159	(7)	.220
	20	芸術・文化活動の振興	(17)	.118	(29)	.066
	21	スポーツの振興	(18)	.113	(31)	.048
	22	地域コミュニティづくりの支援	(28)	.043	(24)	.088
	23	ボランティア・NPO活動の支援	(31)	.029	(34)	.035
	24	市役所の窓口サービスの向上	(7)	.215	(16)	.123
産 業	25	産業の振興（企業の誘致・成長支援、雇用の促進など）	(22)	.069	(3)	.304
	26	観光・コンベンション（大規模な会議など）の振興	(10)	.158	(32)	.047
都 市 基 盤 ・ 物 流	27	市街地の整備・再開発	(15)	.123	(16)	.123
	28	交通・物流（空港、港湾など）機能の強化	(19)	.093	(25)	.080
	29	道路・交通ネットワークの整備	(21)	.070	(12)	.161
環 境	30	ごみの適正処理とリサイクル	(2)	.504	(20)	.114
	31	大気・騒音・水質などの環境保全	(12)	.143	(18)	.121
	32	地球温暖化対策、省エネ、再生可能エネルギーの推進	(16)	.121	(10)	.174
	33	自然環境の保全と自然とのふれあいの推進	(30)	.037	(26)	.078
交 流 ・ 連 携	34	アジアを中心とした交流の推進と国籍を問わず快適に暮らせるまちづくり	(25)	.055	(21)	.107

注) 順位：1位3点、2位2点、3位1点を合計した順位（表1-1及び表2-1）をそのまま表示

平均スコア：1位3点、2位2点、3位1点を合計し、回答者数で割ったもの